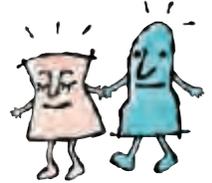


THE ライフルスポーツ RIFLE SPORTS

2021 **5**
第450号



- 第32回オリンピック競技大会(東京2020オリンピック競技大会)
- 第59回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会
- 2021・2022年度新体制



スポーツクジ



ライフルスポーツ

巻頭言

専務理事 袴田登喜造

第32回と第16回のあと

1年延期となった第32回オリンピック競技大会の射撃競技はクレール種目も含んで101の国と地域、難民選手団355名の選手を迎えて7月24日から始まり8月2日に無事終了した。無事というのは参加者や役員だけでなくボランティアも含めて射撃関係者は感染者を一人も出さなかったことである。

開催には賛否両論の報道が繰り返されていたが、会場においては複数の選手団から5年間の努力を無駄にせず大会に参加できる喜びと開催運営の謝意を聞いた。

謝意は単なる世辞でなく、大会が開催される5日前から出役しているNTO＝国内技術役員、ITO（日本からは3名）＝国際技術役員による日々の整然としたスケジュール通りの運営などを目の当たりにしたからであろう。

現に彼らは競技開始の2時間以上前に集合し、準備をすすめ、当たり前のことだが公式に定められた開始時刻にQualification RangeもFinals hallもChief Range Officerが1秒の狂いもなく「START」の号令を掛けている。また、初日から最終日までIncident Reportがほとんどないことを見れば、宜なるかなである。

オリンピックの後は、8月30日から9月5日まで参加44カ国、154人の東京2020パラリンピック競技大会。多くのNTOにとっては競技規則、規定を理解しているつもりでも未踏の領域である。用具検査では車椅子背もたれのたるみや射撃テーブルの取り付け角度、支持スタンドスプリングの柔軟性測定、ライフル銃の重心点の表示など、競技においては選手が規則に沿って用具を使用しているかだけでなくLoaders＝装填手（SH2種目のみ）の動作確認も必要となる。

オリンピックとパラリンピックを通して沢山の経験を積んだ国際審判員は協会にとって貴重な人財。彼らが後代に繋ぐ遺産は豊富である。さあパラリンピックの閉会式で声言しよう。

NRAJ LEGACY “START” !



今月の表紙
25m ラピッドファイアピストル 吉岡大選手
京都府警察の警察官としてピストル競技を開始。ラピッドファイアピストル種目は7年目。初出場で8位入賞。今回の悔しさを力にバリ五輪でのメダル獲得を狙う。

(写真：ライター／アフロ)

目次

東京2020オリンピック競技大会 記念号について……………	2
東京2020オリンピック競技大会競技成績報告 ……………	3
オリンピックでのNTOの業務について……	8
オリンピックでのボランティアについて……	16
東京2020オリンピック競技大会の おもてなしと外交……………	17
東京大会報告……………	19
2021年度 第59回 全国高等学校ライフル射撃 競技選手権大会……………	31
2021・2022年度 新体制 ……………	34

第32回オリンピック競技大会（日本／東京）
全日本ライフル射撃競技選手権大会（BR/BP）
2021年度 第59回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会



東京 2020 オリンピック競技大会 記念号について

開催反対の声が渦巻き、多くの人々が不安を抱くなかで大会は開催された。そして一年延期、無観客など、オリンピック大会史上初めての困難を克服して大会をやり切った。

射撃競技に参加した各国からは感謝と称賛の声が寄せられている。選手達が世界から集い、競い合い、連帯するというオリンピックの使命を、東京 2020 オリンピック競技大会は達成できたと言えるだろう。大会の準備、運営にご尽力いただいた関係各位に協会を代表して感謝を申し上げたい。

本号はオリンピック大会記念号として、カラーグラビアのページを増頁し、競技関係だけでなく大会運営に関する記事も網羅して、これから開催される国際競技大会（2022年国際マスターズ大会、2026アジア競技大会等）に活かせる資料となるよう構成をした。記事は、競技、運営、ボランティア、外交ホスピタリティーとテーマを分けて、現場で関わった方々に執筆いただいている。

会長 松丸喜一郎



写真：JOC

東京2020オリンピック競技大会競技成績報告

東京2020オリンピック日本代表選手団

監督 田村恒彦

東京2020オリンピック競技大会が、8月24日から8月2日までの10日間、陸上自衛隊朝霞訓練場に仮設として設置された朝霞射撃場で開催されました。コロナ感染症の影響で一年の開催延期、無観客試合という特殊な大会となり、日本代表選手は感染防止対策を徹底したバブルの中でメダル獲得を目標として臨みました。本大会では、パルセロナ五輪で木場良平氏がメダルを獲得して以来、29年ぶりとなるメダル獲得を目指しましたが、獲得には至りませんでした。しかし、吉岡大選手（京都府警察）が25m ラビットファイアピストルで8位に入賞し、北京五輪での松田知幸選手の50m ピストル8位以来、13年ぶりの入賞を果たしてくれました。

これまでの五輪では、事前にプレッシャーのかかる海外の試合や合宿を経て本番に臨んでいましたが、コロナ禍での海外遠征は感染リスクが高く、帰国後の待機期間が余儀なくされることから、緊急事態宣言下でのコロナ感染防止対策に細心の注意を払いながら NTC での練習に韓国代表選手とのリモート試合を組み入れる等、コンディションの調整とモチベーションの維持に努めました。

自国開催としての地の利を生かすため、本番会場での事前練習を行うことで射撃場及び標的の明るさ、風の状況、暑さ対策としての空調と気温の状況等を選手に実感させたく組織委員会に本番会場の使用を申し入れていましたが、認められなかったことから、自衛隊体育学校の協力を得て、風の練習を必要とするライフル選手については、隣接した体育学校射撃場でトレーニングを行いました。

<東京2020競技成績>

【7月24日／第1日】

○10m エアライフル女子

この種目には、中口遥選手と平田しおり選手が出場した。中口選手は、緊張からか初弾の入りが悪く、前半は苦しい射撃が続いたが、後半は本来の射撃を見せ、622.2点の32位、平田選手は、最初の入りは良かったが中盤に伸び悩み、終盤では追い上げを見せたものの622.1点で34位に留まった。



10m エアライフル 中口遥選手

○10m エアピストル男子

堀水宏次郎選手は、緊張の中でも冷静に自分自身の射撃ができていたが、惜しくも最終シリーズで94点と落とし576点の16位、2点差でファイナルには届かなかった。

【7月25日／第2日】

○10m エアピストル女子

山田聡子選手と佐々木千鶴選手が出場した。

この種目は日本記録を撃たなければファイナルに残ることが難しい種目であり、山田選手は、第1シリーズを落としたものの後半は素晴らしい射撃を見せ570点の23位で終わった。この経験は次に繋がると思われる。佐々木選手は、試射では連続して多くの10点を撃つスムーズな射撃であったが、本射に入り緊張からか調子の波に乗れず556点50位に終わった。



10m エアピストル 山田聡子選手

○10m エアライフル男子

この種目には、岡田直也選手と松本崇志選手が出場した。

岡田選手は、選考会からファイナルに進出できる630点越えを幾度と撃ち、未公認ながら世界記録を達成する実力を持っていたが、最後まで粘り強い射撃ができず、全体的に精彩を欠き625.7点の20位、松本選手は第1シリーズから緊張が加わり、思うような射撃ができなかったが、後半に立ち直ったものの621.7点の37位であった。10m エアライフル種目では男女とも若い選手の決勝進出が目立った。また、体格に恵まれなくても十分に対応できると思われた。

【7月26日／第3日】 ライフル・ピストルは試合が無く、クレーのみ競技実施。

【7月27日／第4日】

○10m エアピストル混合

この種目は東京オリンピックからの新種目であり、山田選手と堀水選手がペアを組み出場した。両選手とも調子の波に乗ることができず559点の20位の成績であった。



10m エアピストル 堀水宏次郎選手

○10m エアライフル混合

この種目も東京2020オリンピックからの新種目で、中口選手と岡田選手ペア、平田選手と松本選手ペアの二組が出場した。中口選手、岡田選手ペアは僅差で625.6点の13位に終わったが、後少しの頑張りがあれば、入賞圏内であっただけに残念であった。平田選手、松本選手ペアは、調子の波に乗れず620.3点26位に終わった。

【7月28日／第5日】ライフル・ピストルは試合が無く、クレーのみ競技実施。

【7月29日／第6日】

○25m ピストル女子（精密）

佐々木千鶴選手と山田聡子選手が第一日目の精密射撃に出場し、佐々木選手は282点の40位、山田選手は279点の44位と出遅れた。

【7月30日／第7日】

○25m ピストル女子（速射）

佐々木選手は、速射285点の計567点で40位、山田選手は、284点で計563点の43位と本来の実力を発揮することができなかった。



25m ピストル 佐々木千鶴選手

【7月31日／第8日】

○50m 3×40女子

この種目、大学生の平田しおり選手が出場し、終始丁寧な射撃ができていたが、左右から交互に吹く風の影響もあり、得意の膝射、伏射で失点が見られたものの立射では素晴らしい粘りの射撃で390点を撃ち、結果、1,169点の11位であった。ファイナルへは2点差で惜しまれた。大学生での初めてのオリンピックの経験は、2024パリオリンピックに向けての自信と確かな手応えを感じたことと思われる。



50m 三姿勢 平田しおり選手

【8月1日／第9日】

○25m ラビットファイアピストル男子（第1ステージ）

吉岡大選手が出場し、8秒射で48・47点と大きく落としたが、6秒射で49・49点、4秒射で49・48点を撃ち、計290点の9位に付けた。



25m ラビットファイアピストル 吉岡大選手

【8月2日／第10日】

○25m ラビットファイアピストル男子（第2ステージ）

前日の第1ステージで好位に付け、この日の8秒射で50・50点、6秒射50・49点と張り詰めた雰囲気の中で素晴らしい射撃を見せた。4秒射も48点であったが、最終に45点と崩れ、292点の計582点で6位、7位、8位が同点の混戦となり、センター数で劣勢の吉岡選手は8位入賞に終わった。初日の8秒射、二日目の4秒射の大きな失点があつての8位入賞は立派であった。

○男子50m 3×40

本大会の最後の種目に岡田選手と松本選手が出場した。岡田選手は、1,158点の31位、松本選手は1,145点の37位と伸び切れなかった。この種目は体格を活かしたヨーロッパ勢の強さが印象的であった。



50m 三姿勢 岡田直也選手



50m 三姿勢 松本崇志選手

東京2020オリンピックは、世界全体に拡大したコロナ感染症という特殊事情での開催であり、選手選考及び感染防止対策等において、変化する状況に迅速に対応する必要があったことから、選手及び関わっていただいた方々には大変ご苦勞をおかけしました。NTCの全面使用禁止、国際競技会・国内主要大会の中止、他競技団体での陽性者発生等の事態が起りましたが、順調に選手強化対策を実施でき無事にオリンピックを終えることができたことは、NTC イースト射撃場という最良の射撃環境の存在と関係していただいた多くの方々のご支援と熱意のお陰であり、ご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

代表選手は、東京2020オリンピックという最大のスポーツイベントを経験し、コロナ禍での厳しい制限が求められた社会的情勢において、NTCという素晴らしい射撃環境で集中した練習ができたことで競技力、人間力共に一段と成長しており、2024パリオリンピックでは必ずメダルを獲得できると確信しています。皆様におかれては、引き続き日々努力する選手達へのご理解とご協力をお願いするとともに、東京2020にご支援いただいた全ての方に心より感謝申し上げます。

オリンピックでの NTO の業務について

氏名：藤井 彌（わたる）／担当業務：ファイナルホール CRO（射場長）

■業務内容

- ・10m、25m、50m ライフル・ピストルの全種目のファイナルの号令
- ・射撃競技のファイナルをテレビコンテンツとして放映する前提で運営する
- ・メディアを筆頭に、多くの射撃競技以外の方々と連携して行う

■業務遂行上心がけたこと

- ・多くの関係者の情報共有を速やかに行うこと
- ・自他の担当領域を尊重すること
- ・メディアや演出の要望を尊重しつつ安全と法を守ること

■トラブル事例と対処方法

- ・ファイナルホールが25m 本選射場と兼用だったため、非公式練習の提供枠に対して多くのリクエストがあったこと。25m 本選 CRO（射場長）の中尾さんが割当表を作成し、割当ルールを明示することで、割当の公平性を保ちました。
- ・事前に会場運営のイメージを TD やメディアとすり合わせる機会がなく、短時間で調整をする必要があったこと。リハーサルの実施も含め、関係者とのすり合わせの連続でイメージをかためました。
- ・10m のファイナルにおいて、選手全員がうち終わる前に誤ってストップをかけてしまったこと。お詫びすると共にサポートに感謝いたします。ルールに則って再開し、その後はサポート役のポール・ガンさん（2012年ロンドン五輪の元射場長）とダブルチェックをしながら進めました。
- ・スポーツプレゼンテーション担当のアナウンスと私の号令が被ってしまうことがあったこと。アナウンサーの席が遠く、直接コミュニケーションをとれないため、ポールさんからインカム経由で、号令とアナウンスの切り替えタイミングを明確にしてもらいました。
- ・射座にいる役員の声が発場長の席まで届かなかったこと。通常、25m ピストル種目の銃器故障（マルファンクション）においては、射座から射場役員が発場長に声で伝達しますが、ファイナルホールでは音が吸収されてしまい、射場長の席まで声が届きませんでした。25m 本選 CRO（射場長）の発案で、ホワイトボードとマグネットを使い、視覚的にマルファンクション内容を伝達できるようにしました。

■参加選手やメンバーとの関係

- ・ポールさんには、ファイナル進行の指導だけでなく、NTO 全体へのオンライン研修もしていただきました。ロンドン五輪での彼の経験を今大会に活かすことができました。
- ・TD（テクニカルデリゲート）や外部からの要望への対応は、香西さん、溝部さん、田中僚一郎さん助けていただきました。25m 本選射場と兼用だったため、スケジュールが通常の試合と比べて詰まっているなか、リハーサルを複数回させてもらえた事は、大変助かりました。
- ・25m 本選 CRO（射場長）の中尾さんからは、25m 射場長としての押さえておくポイントを教わりました。おかげで、25m ファイナルでアナウンスの時間が予定をオーバーした時、選手に迷惑をかけずに時間調整して進めることが出来ました。
- ・ファイナル射場の ACRO（アシスタント射場長）の仲本渚さんには、入退場を含む FOP 全体の選手・コーチ・役員の動きを取り仕切ってもらい、関係者から高い評価をいただきました。

■感想

一人一人がそれぞれの持ち場で一所懸命に尽力してくださっている事、それ故に成り立っている大会である事を強く感じました。特に、銃器の輸出入業務、保管業務、射場管理業務は、射撃を熟知した会員の方々のおかげです。

57年ぶりの自国開催のオリンピックが無観客試合となりましたが、これだけ多くの役員がオリンピックの運営を体験出来たことは、これからの日本の射撃に必ず生きてくると確信しています。多くの若手に挑戦の機会を与えてくださった、各加盟団体の諸先輩方に心より感謝申し上げます。



ファイナル進行中のポールと筆者（撮影 三木容子）



ファイナル前に FOP 動線打ち合わせ（撮影 鈴木慎平）

氏名：粟生由紀／担当業務：RTS (Results, Timing and Scoring)

オリンピック出役を経て

約2週間の東京オリンピックは、長いようで始まってみればあっという間でした。

私の担当業務は RTS (Results, Timing and Scoring) で、国際審判の RTS Jury が4名（クロアチア・ドイツ・インド・中国）、私たち国内の RTS Officer は5名（Chief 1名、10m/50m 2名、25m 1名、Final Hall 1名）の9名体制でした。

RTS は成績に関する全てのアクティビティが業務の対象です。大会期間中にも RTS とは何をする業務なのかを何度か質問いただきましたので、以下に今回の RTS Officer の業務内容を共有いたします。

本戦会場担当の RTS Officer は、各種目の Pre Event Training の前日16時までにスタートリストをメインスコアボードに掲載、試合開始前に RTS Jury と共に標的やモニターの確認、試合終了後は個票を回収、コントロールルームから発行される Preliminary Result をレンジスコアボードに掲載、10分間の抗議時間の間に上位10名の個票の確認・インシデントレポートや用具検査のポストコンペティションチェックの結果の確認（成績修正の有無確認のため）、CN レポートの作成、Result をメインスコアボードに掲載、というのが主な業務の流れでした。

ファイナル会場担当の RTS Officer は、ファイナルスタートリストを関係者へ配布、ファイナル開始前に RTS Jury と共に標的やモニターの確認、また、Final 競技進行中はコントロールルームのそばに待機し、万一問題が発生した場合はコントロールルームと連携して Range Officer の代わりにインシデントレポートを作成する業務も行いました。





Chief RTS Officer は RTS 室での業務が主で、試合終了後に各 RTS Officer が持ち帰った全ての書類に抜け漏れがないことを確認して種目ごとにファイリングし、RTS Jury から何か聞かれた時にすぐに該当の書類を調べて提供できるよう整備しておくことや、各種目の時間の予実管理のチャートをまとめて Excel file に転記し Technical Delegate に報告するという業務もありました。

RTS Jury はコントロールルームにて Result Provider と共に試合の進捗を見守り、Jury 判断が必要な問題が起きた時には適宜対応し、上記の私たちの業務の監督をしながら時には私たちの質問への答えや業務についてのアドバイスをしてくれました。

オリンピックならではの業務と感じたのは、時間の予実管理です。

オリンピックでは公式タイムスケジュールに沿って進行させることが非常に重要です。RTS では、エントリーリスト・スタートリスト・ファイナルスタートリストの発行時刻、試合開始時刻の予実 (25m 種目では各射群の所要時間も)、試合終了アナウンスから結果発表までの所要時間、インシデントレポートやマルファンクションの数など、試合の進行状況が一覧でわかるようにチャートにまとめることも業務の1つとしてありました。この業務はこれまでの国内・海外での役員研修には無く、テスト大会で説明を受けて初めてその存在を知り、オリンピックならではの業務なのだと思いました。

コミュニケーションについては、それぞれの持ち場である本選会場・ファイナル会場・RTS 室との間は少し距離があったため、RTS チームではコミュニケーションを迅速に取れるように WhatsApp アプリでグループを作り、連絡を取り合うようにしました。

また、RTS Officer 間で協議して分からないことがあれば Jury に積極的に質問をしました。心がけたのは「このように考えているが、それで問題ないかアドバイスもらえないか」という話の持ちかけ方にしたことです (全てがそうではありませんでしたが)。先方にもこちらの考え方が伝わり、良いコミュニケーションができました。

RTS 業務上の大きなトラブルもなく、射場役員・用具検査役員・その他の大会役員の方々とも LINE アプリのグループでのやり取りや控室での情報交換などを通して、上手く協業することができたと思います。

未曾有の環境下、無観客で行われた東京オリンピックでしたが、後にも先にも滅多にない貴重な経験で、私の記憶に深く残るものとなりました。携わる機会を与えてくださった関係者の皆様には心から感謝申し上げます。



氏名：岡田亜美／担当業務：10, 50m 本選会場での射場長（Chief Range Officer）

■業務内容

10, 50m 本選会場では、標的や射座の確認・整備、射手のチェック（本人確認、用具検査が完了しているか等）、射手が時間やルールを守っているか、各射場役員が10射座ずつ担当をもち業務遂行していました。私の射場長の業務は指示・統括と本選中の号令が中心でした。

これらの業務は国内の一般試合と概ね同じではありますが、①裁定をするジュリーと試合進行をする射場役員の明確な役割分担、②時間厳守、③テレビ映りの徹底が国際大会、またオリンピックとしての大きな特徴であったと感じています。

①に関して、裁定は必ずジュリーが担当し、射場役員や射場長はその権限がありません。報告・処理ルートが明確でジュリーと射場役員の役割が異なることを改めて実感しました。

②・③について、オリンピックは放映時間が厳密であるため、決勝の開始時刻が遅れないよう徹底した時間管理が求められました。また、テレビ映りへの配慮として、射座から使用しない用具を出すよう射手への指示、射場役員の座る位置や行動の指定が入るなど、オリンピックならではの動きがありました。

■業務遂行上心がけたこと

試合では射手が最大のパフォーマンスを発揮できる試合進行が求められます。射手の邪魔にならないよう迅速で的確なタイミングでのチェックや指示、コミュニケーションを心がけました。例えば射手チェックを試射開始までに絶対に終わらせること、射撃中に声をかけないこと、などです。



標的を整備している射場役員

■トラブル事例と対処方法

練習中にコーチから「エアコンの風があたり選手が寒がっているので対応してほしい」という申し出があったため、ジュリーと相談の上風量と温度を調整する対応がされました。全体を通してほとんどトラブルはありませんでした。

■参加選手やメンバーとの関係

各役職メンバーと共に、選手がオリンピックという大舞台で最大限モチベーションを発揮できる環境の提供、公平性や平等性の担保を強く意識していました。

また、射場役員だけでなく RTS や用具検査、決勝会場の役員やジュリーの皆さんが連携し、参加メンバー全員で最高の運営を実現できたと自負しています。

これも事前の国内大会での NTO 研修やテストイベント、講習会等が大きなき要因となっているように思います。入念な準備と貴重な機会をくださった関係者の皆さまのおかげで大会が成功に終わりました。感謝申し上げます。

■感想

私は学生の中から競技役員として試合に関わることが好きで、社会人になっても続けたいという思いがあったため今回オリンピックに関わることができ大変嬉しく思っています。貴重な機会と経験をくださった関係者の皆さまへ改めて感謝申し上げます。

国際大会にこれだけ多くの日本の競技役員が関わることはなかなかありません。にもかかわらず今回非常に質の高い競技運営を実現できたように思います。今大会で培ったノウハウを今後のより良い試合運営の実現に生かすことができればと思います。



射場役員での集合写真

氏名：山下せろな／担当業務：用具検査長

私は用具検査長としてオリンピックに出役しました。用具検査は選手の銃・装備品がISSFルールに適合しているかをPET(公式練習)までに確認し、毎試合後にポストコンペティションチェック(フォローアップ)を実施して、ファイナル前にも検査を実施します。オリンピックならではの検査項目としてルール50(ブランディングコントロール)がありました。これは、オリンピックはテレビ中継があるためスポンサー企業以外のメーカーのロゴマークがテレビに映りこまないように、基本的には1製品にロゴ1つだけ残してすべてテープで隠す作業です。

検査の判断にばらつきをなくしスピードアップをはかり、選手に安心してもらうために用具検査員ができるだけ毎回同じ検査項目を担当するよう配置されました。私は主にオーバーラップと銃の検査を担当しました。選手の銃を検査する際の取り扱いは丁寧に、用具検査で判断に迷う場合は自分で決断せずジュリーの判断を仰ぐよう心がけました。

試合終了からファイナルのリポータータイムまでの時間が30分程度しかなかったため、例えばミックス種目の場合はポストコンペティションチェックで検査しなかったもう片方の選手をファイナル前に検査するなど時間短縮するよう工夫して実施しました。

用具検査開始前は、用具検査と非公式練習の射座予約のレセプションの一部を担当しました。改善すべき点は多々ありましたが、用具検査を予約制にしたおかげで選手の待ち時間は減らせたと思います。ホテルに戻ってから予約射座の組み直し作業をしないとイケないのに、コロナ対策でロビーに座るスペースがなく、偶然見つけたランドリールームのテーブルと丸椅子で作業したのは学生時代に戻ったかのような楽しい(?)思い出です!



用具検査の様子(ピストル)



用具検査の様子(ライフル)

銃や装備は用具検査会場では問題なくても、選手の構え方や使い方次第でルール違反になることもあります。それを見つけ出すのはファイナルや試合中ではなく非公式練習やPETの間であるべきだと実感しました。「ルールの意図を理解する」ことを常に意識し、ルールを知識として知るだけでなく国際大会で実践することの難しさと面白さを経験する役員がもっと増えて欲しいと思います。そして国内大会では選手の小さな違反を見つけ出すことを目的とするのではなく、用具検査でひっかかる可能性があるというアドバイスをして選手が対策できるようにしていくことが大切だと思います。

用具検査チームはライフルもピストルも頼りになる方々ばかりで本当に心強く、また楽しくて忘れられない経験をすることができました。他の役割と兼任して手伝ってくださったメンバーにもお礼申し上げます。至らない部分が多かったと思いますが、オリンピックでの経験と反省をパラリンピックや次の機会に活かしていけたらと思います。ありがとうございました。

オリンピックでの ボランティアについて

スポーツ局 競技運営部（地方会場）射撃競技チーム
IF サービス 主事 ギャンビル千夏



Arigato!! と手を振る選手達、
ありがとう！ と手を振るボランティア、スタッフ達
近隣の小学生達が育ててくれた夏色鮮やか朝顔達に毎日見守られて Tokyo2020
きっと最初で最後（であってほしい）のパンデミックの中のオリンピックは終わった。

「射撃って意外に面白いスポーツなんだね！」
「射撃はよくわからないけど 毎日笑顔で挨拶してくれた××の国、一生懸命練習をしてる ○○選手をこれからも応援するわ！」

暑さ厳しい朝霞の会場では無観客な事もあり、ボランティアの人達は選手の練習する姿や、試合を観る時間が多くあり、日を追うごとにボランティアやスタッフの方々が射撃に興味を持ってくれるのを目の当たりにし、ジュニア選手の保護者としてはとても嬉しく思いました。

競技以外では 各国の選手やコーチ達からボランティアやスタッフの活動中にオリンピックのために作ってきたピンバッジを頂く機会が多くありました。

日本の選手や、日本ライフル協会から選手達に配られたバッジも大人気！
今回様々なデザインのバッジを見ましたが、個人的には台湾のバッジが1番気に入っています。

大会中毎日増えていくバッジ。そのバッジを通して今までよく知らなかった国や、選手に興味を持つ周りの様子を見てピンバッジが親善大使のような役割をしていたのも面白い発見でした。

パリでは日本はどんなバッジを作るのかしらと新しいオリンピックの楽しみ方が増えました。



東京2020オリンピック競技大会のおもてなしと外交

会長 松丸 喜一郎

オリンピック大会の意義はスポーツを通じた交流にあるが、それは選手に限ったことではない。役員やスタッフ、ボランティアなど大会に関わる全ての人々の交流も大きな大会の意義である。本稿ではホスト国として実施した、ささやかな「おもてなし」や、協会の代表として対応した国内外の要人との交流について報告をしたい。

1. ささやかな「おもてなし」

コロナ対策として定めたルール「プレーブック」は、会食はもちろん、ホテルでの面談等、ホスピタリティーはほとんどできない厳しい内容である。しかし、パンデミックの困難を克服して東京大会に参加してくれた代表団に、ホスト国として感謝と Welcome の気持ちは伝えたい。「対面のおもてなし」ができないのであれば気持ちを伝える「こころのおもてなし」でオリンピック大会の意義である交流を果たそうと考えた。以下がその内容である。

(1) Welcome Speech

各国代表が集まる監督会議において、参加して下さった感謝の Welcome スピーチをおこなった。



(2) ギフトとボランティア

各国代表や選手団向けに Welcome Letter、ピンバッチ、協会扇子等を入れたギフトバックを、国別に設置されているポストや代表の宿泊先に届け入れてプレゼント。ささやかな「おもてなし」ではあるが、ギフトバックの作成、宿泊ホテルの把握、ホテルへの持込などホスピタリティー担当者には大変な作業であった。そして、ボランティアの献身的な活動は選手達を支え、安らぎを与えた。規制の中でも、できることはやり切っておもてなしをしたいという気持ちは伝わり、感謝の声が多く寄せられている。真心に国境は無く、こころの交流はできたと確信している。



2. 交流と外交

国際競技大会は、人間関係構築の機会であると同時に外交の場でもある。オリンピック競技大会は期間も長く多くの要人が集まるので最高の場を提供してくれた。

(1) ISSF と ASC

ISSF リシン会長と ASC 会長代行オタイビ氏の会談をセットすることができた。その結果、各大陸連盟への「新たな助成金創設」と「アジア大陸のオリンピック QP 配分を増やす」ことの検討が約束された。これはアジアにとって大きな収穫であり、何より ISSF と ASC が胸襟を開いて話し合える関係性を再構築できたことは大きな成果である。

(2) ISSF と NRAJ

リシン会長、ラトナー専務理事と意見交換ができた。内容は多岐にわたったが、特に ISSF と ASC の関係、IOC デジタル化方針への対応について話した。この意見交換が上記 ASC 会談の成果に繋がったとすれば望外の喜びである。射撃競技のデジタル化については NRAJ プロジェクトの進捗を共有することになった。

視察に来られた丸川大臣、遠藤元大臣、橋本会長をリシン会長に紹介できた。オリンピック大会でなければこのような機会はないであろう。スポーツ行政に影響力を持つ方々が、今後も射撃競技を応援して下さることを期待している。



(3) IOC と NRAJ

IOC は大会期間中に各競技の評価を行う。評価委員会の委員長代行が視察に訪れた。ミックスイベントを視察した印象は、①競技時間が長く感じる、②選手に動きがない等、であった。評価は ISSF にも共有されるが、更なる競技の工夫が求められる。因みに、照準軌跡と射手が映し出された去年の高校生オンライン大会の映像を見せたところ、IOC が検討しているバーチャルスポーツと親和性があり興味深いとのコメントを得た。

(4) 各国と NRAJ

交流ができた方々は以下の通り。

バッハ IOC 会長、モナコ公国アルベル大公、ジョージア大統領、アメリカ会長、フランス会長、ノルウェー会長、ノルウェー IOC 委員、イタリアライフル会長、イタリアクレール会長、ブルガリア会長、クエート会長、インド会長、韓国会長、カザフスタン会長、フィリピンスポーツ大臣、フィリピンオリンピック委員会会長、イラン会長、モンゴル IOC 委員、パキスタン IOC 委員、ギリシャ ISSF 理事、中国専務理事、ウズベキスタン専務理事、パキスタン専務理事、各国 ITO、選手団。



IOC の評価視察

さまざまな国々と交流をしながら、米中関係が改善したピンポン外交を思い出した。卓球選手団の交流がきっかけと

なり両国の関係改善が図られた。スポーツは損得の無い、人と人の純粋な結びつきを作る力がある。紛争が頻発し分断と格差が進行する今の世界に最も必要なもの、それは人と人の絆であると、あらためて認識できた。

東京大会報告

■施設



Entrance control



Vehicle screening



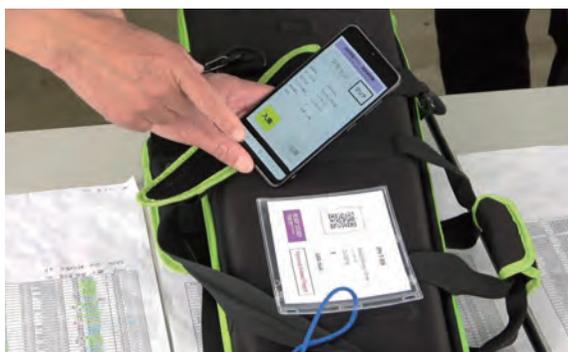
Athletes' lounge



Athletes' lounge



銃器保管庫



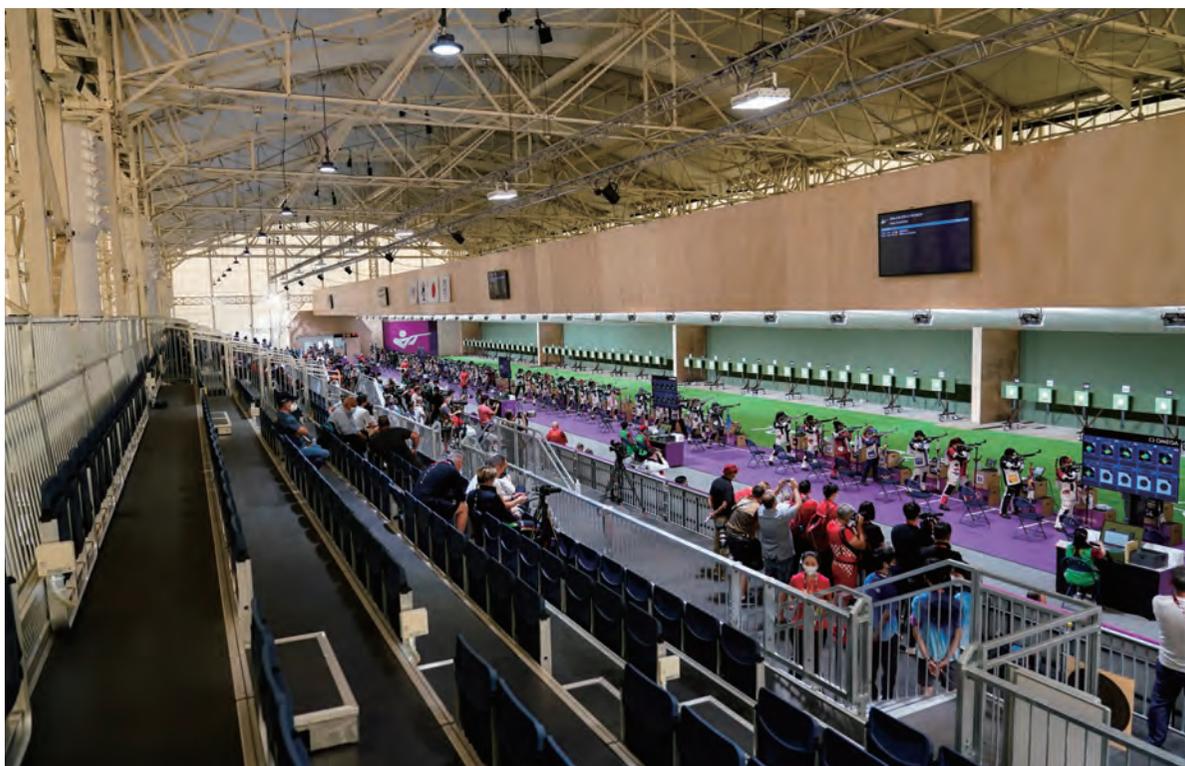
銃器保管庫 (出入管理)



本選会場 (外観)



25m 射場 / ファイナル会場 (外観)



本選会場

写真：AP/アフロ



25m 射場／ファイナル会場

■ NTO、ITO (運営)



NTO ミーティング



ITO ミーティング



NTO



NTO



ライフル用具検査



ピストル用具検査



ITO



NTO



銃器保管庫



ファイナル射場長



NTO



NTO 及び ITO



Field Cast



Field Cast



Field Cast



Field Cast

■日本代表選手団



岡田 直也選手

写真：西村尚己／アフロスポーツ



中口 遥選手

写真：YUTAKA／アフロスポーツ



平田 しおり選手

写真：千葉 格／アフロ



松本 崇志選手

写真：西村尚己／アフロスポーツ



山田 聡子選手

写真：西村尚己／アフロスポーツ



佐々木 千鶴選手

写真：西村尚己／アフロスポーツ



堀水 宏次郎選手

写真：YUTAKA/アフロスポーツ



吉岡 大選手

写真：AP/アフロ



吉岡 大選手



平田 しおり選手



中口 遥選手



山田 聡子選手



エミールコーチ (ピストル)



田村監督、三木総務



ゴランコーチ (ライフル)



磯部ヘッドコーチ

■ホスピタリティ・外交



バッハIOC会長



バハ IOC 会長



モナコ公国アルベール大公



橋本組織委員会会長、NTO



橋本組織委員会会長観戦



遠藤組織委員会副会長観戦



丸川大臣観戦



リシン ISSF 会長、丸川大臣



モンゴル IOC 委員



ITO





1964年の300mフリーライフル的にされたサイン



Range Master (射撃場管理者)



左：Range Master (射撃場管理者)



写真：Mike Valente

写真提供：岡田直也、Shinpei SUZUKI、谷川諒、津久浦弘子



2021年度 第59回 全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会 (2021 (令和3) 年8月8日～11日 於つつがライフル射撃場)

【全国高等学校選手権大会2年ぶりの実施と感染対策、そして…】

「コロナ感染拡大」「台風の接近」「熱中症」の懸念の中、2年ぶりに広島県は安芸太田町での集合大会（無観客）となった。顧問たちはお互い「ワクチン打ちました？」が挨拶代わりである。実施に先立ち、事前に様々な注意喚起の文書を配信し、周知を図ってきた。また感染対策の取り組みの影響で、競技運営、成績算出方式、行動形態が変わった。以下にその取り組み例を挙げる。

【接触機会の減少の取り組み】

- 1 公式練習・代表者会議・表彰式・開会式・閉会式の中止。（RTSの先生方の結束と奮闘により、決勝戦終了直後に優勝旗や賞状を選手に渡すことができた。）
- 2 バーコードによる速報・結果通知。
- 3 「声出し応援禁止／黙食推奨」のポスター掲示。

【滞在時間縮小の取り組み】

- 1 競技ルールの変更。男女とも40発競技。
- 2 個人戦の結果をそのまま団体戦の成績に集約。
- 3 競技終了後の速やかな帰宅の推奨。

【新たな行動形態】

- 1 宿舎は原則シングル。
- 2 不織布マスクの使用の義務付け。

なお広島県の感染防止ガイドラインに則り、安芸太田町の皆様には様々にご支援頂いた。「飲食の出店見合わせ」「CO₂濃度のチェック」「大型扇風機・手指消毒液の設置・食事用の屋外テント設置」などはその一例である。いつもながら頭の下がる思いである。

コロナ禍のもとでの大会ではあったが、多くの新記録が生まれた。今なお活動がままならない後輩たちにも励みになったはずだ。特筆すべきはエアライフル男子個人戦優勝の元木将人選手（徳島・城北）とビームライフル男子個人戦優勝の吉田陸矢選手（佐賀・佐賀清和）である。

両選手のファイナル得点は、ここ一番の大舞台ではなかなか出せない数字である。ましてや今はコロナ禍である。吉田選手の本戦得点も他を圧倒している。在学校にライフル射撃部が設置されていないにも関わらず全シリーズ105点越えの快挙。姉川コーチと二人三脚で制約を乗り越えてきたことが伺われる。

そして、…

連日の天候不順、入場制限、また既に導入されていた冷房のお陰もあり、今大会期間に熱中症で救護室を利用した選手はゼロだった！

制約は多かったが、とにかく集合大会ができてよかった。「来年こそは」と、お互いに名残を惜しみつつ解散した。

そして、大会終了後、2週間たった今…。「感染の報告なし」。大会は無事成功した！！

大会参加校の皆さん、安芸太田町実行委員会の皆さん、ご協力本当にありがとうございました！！練習の成果の発揮の場をなんとか生徒に提供したい、という関係者たちの思いが随所に滲む大会となった。

★ 個人戦覇者に大会を振り返ってもらいました ★

AR 男子優勝

元木将人（徳島・城北高校3年）

「あまり覚えていないのですが（笑）いつもより集中でき、練習の成果を全部出しきれました。この集中力で、受験も乗り切ります。」

AR 女子優勝

山田百恵（沖縄・興南高校3年）

「過去の大会では、プレッシャーを感じたり、雑念に振り回されたこともありましたが、今回は自分自身を乗り越えられた気がします。高校生活の締めくくりができてよかったです。」

BR 男子優勝

吉田陸矢（佐賀・佐賀清和高校3年）

「コロナ禍での大会開催に感謝します。全日本と2連覇できたのがうれしい。今後、もっと精進し、上を目指して頑張りたい。「部」を作ります！」

BR 女子優勝

竹下愛美選手（鹿児島・志学館高校2年）

「ファイナルの経験が少なく、緊張しましたが、ファイナリストの中に同じ鹿児島の子がいたので、私も頑張ろうと思って、楽しく撃ちました。」

今回はもう一人、開催地安芸太田町・加計高校2年生のBR女子ファイナリスト・山下和奏選手にもコメントを求めた。

「なかなか時間が取れませんでした、本番を意識し、一生懸命練習しました。ファイナルではあまりいい点が出せなかったのですが、本戦点は自己ベストでした。来年はもっと頑張ります。」

（山下選手）



西武学園文理中学・高等学校
ライフル射撃部顧問 塩旗園香

（AR男子団体優勝校 近年成長著しい沖縄・興南高校 左から小浜章太、和田唯我、玉栄藍人、仲本正樹コーチ）



（BR男子ファイナリスト 左から 吉田陸矢、後藤琉希、杉本拓叶、森涼太、戸田陽翔、永野祥誠、山田崇太、小林理也）
小林選手（群馬・明和県央）は唯一の関東勢である



(BR女子個人ファイナリスト 左から竹下愛美、桃本亜都、小牧紗華、野村奈生、山本夏美、早坂彩花、新保真珠、木下和奏) 竹下の笑顔にアナウンサーも思わず「ニコニコしてかわいいですね」



(中央 地元・加計高校 BR女子個人ファイナリスト 木下和奏)



(BR女子団体戦優勝チーム 激戦を制した国際学院高校 左から柳澤灯、鈴木智晴、加藤那々美)



(感染防止策の一部)



(AR男子ファイナリスト 左から元木将人、玉栄藍人、柳沢充、松島朔矢、高塚日翔、末次皇輝、松浦悠斗、吉野拓海)



(AR女子個人戦ファイナリスト 左から山田百恵、野畑美咲、姫野遥香、馬淵音羽、前山夏子、白石光里、山田咲来、堂本優奈)



2021・2022年度 新体制

6月19日開催の2021年度定期社員総会および同日開催の臨時理事会にて2021・2022年度の新体制が下記のように決定致しました。

役職	氏名	推薦母体	担当	役職	氏名	推薦母体
会長	松丸 喜一郎	本部	選手強化本部長	理事	上之園 正一	本部
副会長	田村 恒彦	本部	選手強化委員長		酒寄 貴瀬	本部
副会長兼専務理事	袴田 登喜造	学連	東京オリパラ準備運営本部長		穂苅 美奈子	本部
副会長	横山 幸子	本部	総務委員長		寺澤 良悦	東北・北海道ブロック
常務理事	永谷 喜一郎	本部	普及生涯スポーツ委員長		田中 僚一郎	関東ブロック
	大野 明敏	本部	推薦委員長		横沢 聡	北信越ブロック
	三木 容子	本部	ジュニア育成委員長		尾崎 和郎	東海ブロック
	平井 宏治	中国ブロック	国体委員長		高橋 信吾	近畿ブロック
	佐橋 朋木	本部	競技運営委員長		山下 晃弘	四国ブロック
	近藤 正晃	本部	マーケティング委員長		仲本 渚	九州ブロック
	小風 明	本部	総務委員会副委員長		五十嵐 治人	高校部会
理事	源 洋子	本部			田中 辰美	障害者連盟
	成山 悟史	本部				
	田口 亜希	本部				
	松島 愛	本部				
				監事	香西 俊輔、岸高 清	
				理事待遇	門間 健一、大木 盛義、粟生 由紀	

新役員紹介：1. 現職 2. 競技歴 3. 役員歴 4. 役員としての抱負 5. 座右の銘 6. 趣味 7. 若者へのメッセージ

近藤 正晃 ジェームス



- 1：公益財団法人国際文化会館 理事長
- 2：なし
- 3：なし
- 4：協会の財政基盤の強化とデジタル対応に取り組みます
- 5：未来を創る
- 6：料理、坐禅、ジャズ
- 7：分断が進む世の中で、スポーツは国籍・宗教・人種などを超えて人類を繋げる力を持っています。その偉大な力を信じて、高い志で活動してください。

小風 明



- 1：三井物産株式会社特別参与、株式会社イオンファンタジー 社外取締役、さいたま市特別職報酬等審議会委員
- 2：なし
- 3：全日本剣道連盟監事（現）、日本スポーツ仲裁機構理事（現）、日本オリンピック委員会理事（元）、国際剣道連盟理事（元）
- 4：他分野での経験を活かし、ライフル射撃競技発展のお役に立ちたい。
- 5：応に住する所無くして而も其の心を生ずべし
- 6：剣道（教士七段）
- 7：日々の生き様が稽古に現れ、真摯な稽古の結果が人間性となる剣道を目指していますが、道なお遠しです。競技力の向上が人間力の向上につながり、人間力の向上が競技力の向上につながるようになりたいものです。

酒寄 貴瀬



- 1: 看護師
アトリエえい子 (花村えい子
画業60周年記念巡回展実行委
員会) 所属
- 2: 24年 現在 AR (所持22年)、AP (所持
20年) 所持中。
- 3: 日本ライフル射撃協会 参事 (~2019)、
理事待遇 (2019~2021)
リオ・デ・ジャネイロ パラリンピック
射撃競技監督
JOC 強化スタッフ (医科学スタッフ) H29~
R2
東京オリンピック イクイップメントコ
ントロール (用具検査) ジュリー
- 4: これまでの多様な経験を協会活動に生か
したいと思います。
- 5: 洗心
- 6: 風景写真を撮る・篠笛演奏・QUEEN +
ADAM LAMBERT のツアーへ行く
甥達に絵本を感情込めて読み聞かせる (寝
かさない)・芸術鑑賞・スキー
こけし収集・射撃をやめたらバイク趣味
に戻る予定
- 7: チャンスも運も大小関係なく掴める時に
掴んでおこう。

仲本 渚



- 1: (有)仲本雅総合商事 会社役員
- 2: 25年
- 3: 九州射撃連合会 理事
沖縄県ライフル射撃協会 理
事
- 4: この度、九州射撃連合会選出により理事
になりました仲本といいます。何事にも
全力で頑張りたいと思います。よろしく
おねがいします。
- 5: なし
- 6: シュノーケル・テニス
- 7: 「好きこそものの上手なれ。」まずは楽し
みましょう！

穂苅 美奈子



- 1: 公益社団法人 全日本アーチェ
リー連盟 理事
- 2: 射撃歴なし アーチェリー
歴: 47年
- 3: 2007年より 公益社団法人 全日本アーチェ
リー連盟 理事
- 4: アーチェリー連盟での経験をライフル協
会に活かすことが出来たらと思います。
皆様にご指導いただきながら務めさせて
いただきたいと存じますので、宜しくお
願い申し上げます。
- 5: 楽しくないと続かない。
- 6: アーチェリー、スキー、猫と遊ぶこと
- 7: 限界を作らず、チャレンジしてみましょ
う！！

五十嵐 治人



- 1: 茨城県立竜ヶ崎第二高等学校
教諭 (ライフル射撃部顧問)
- 2: 小学1年生で競技に出会う。
高校~大学 (7年間)、教員
として地元に戻り10年間の空白の後、射
撃部を創設し顧問として現在に至る (22
年間)
- 3: 茨城県ライフル射撃協会理事 茨城県高
体連ライフル射撃専門部委員長
全国高校部会常任委員 (副部長)
- 4: 「縁の下の力持ち」
- 5: 「万里一空」
- 6: 旅
- 7: 「あ: 明るく、温かく」
「い: いつでも、誰にでも」
「さ: 先に、すすんで」
「つ: 続けて、次の言葉を」
私も、気をつけねば…。

第32回オリンピック競技大会 (日本 / 東京)

2021年7月23日(金)～8月8日(日)

射撃会場：陸上自衛隊朝霞訓練場(東京都・埼玉県)

10m Air Rifle 60 (7/25)

① SHANER William (USA)	630.8	251.6
② SHENG Lihao (CHN)	629.2	250.9
③ YANG Haoran (CHN)	632.7	229.4
④ AKGUN Omer (TUR)	629.8	207.3
⑤ PENI Istvan (HUN)	629.4	186.5
⑥ KOZENIESKY Lucas (USA)	631.5	165.0
⑦ JANY Patrik (SVK)	630.5	143.7
⑧ MASLENNIKOV Vladimir (ROC)	629.8	123.0
㊿ 岡田 直也 (JPN)	625.7	
㊿ 松本 崇志 (JPN)	621.7	

⑥ ZHANG Bowen (CHN)	586	18x	158.2
⑦ SAURABH Chaudhary (IND)	586	28x	137.4
⑧ KIM Mose (KOR)	579	20x	115.8
⑩ 堀水宏次郎 (JPN)	576	13x	

④ DUESTAD Jeanette Hegg (NOR)	1171	65x	439.9
⑤ MADDALENA Sagen (USA)	1178	70x	427.8
⑥ BEER Jolyn (GER)	1178	60x	417.8
⑦ DVORSAK Ziva (SLO)	1173	58x	406.2
⑧ ARSOVIC Andrea (SRB)	1175	59x	402.4
⑪ 平田しおり (JPN)	1169	49x	

25m Rapid Fire Pistol 60 (8/1～2)

① QUIQUAMPOIX Jean (FRA)	586	24x	34
② PUPO Leuris (CUB)	583	21x	29
③ LI Yuehong (CHN)	582	28x	26
④ HAN Daeyoon (KOR)	585	22x	22
⑤ REITZ Christian (GER)	587	18x	18
⑥ LIN Junmin (CHN)	584	20x	12
⑧ 吉岡 大 (JPN)	582	17x	

10m Air Pistol 60W (7/25)

① BATSARASHKINA Vitalina (ROC)	582	19x	240.3
② KOSTADINOVA Antoaneta (BUL)	578	13x	239.4
③ JIANG Ranxin (CHN)	587	23x	218.0
④ KOSTEVYCH Olena (UKR)	577	15x	197.6
⑤ LIN Yuemei (CHN)	579	14x	176.6
⑥ KORAKAKI Anna (GRE)	585	28x	157.4
⑦ LAMOLLE Mathilde (FRA)	578	19x	134.6
⑧ GOBERVILLE Celine (FRA)	577	15x	114.9
㊿ 山田 聡子 (JPN)	570	13x	
㊿ 佐々木千鶴 (JPN)	556	11x	

50m Rifle 3-Positions 120 (8/2)

① ZHANG Changhong (CHN)	1183	67x	466.0
② KAMENSKIY Sergey (ROC)	1183	78x	464.2
③ SEBIC Milenko (SRB)	1180	64x	448.2
④ HEGG Jon-Hermann (NOR)	1181	64x	438.0
⑤ GORSA Petar (CRO)	1176	70x	427.2
⑥ MARICIC Miran (CRO)	1178	66x	416.2
⑦ SHCHERBATSEVICH Yuriy (BLR)	1176	55x	406.3
⑧ KULISH Serhiy (UKR)	1178	60x	402.2
⑩ 岡田 直也 (JPN)	1158	44x	
㊿ 松本 崇志 (JPN)	1145	42x	

10m Air Rifle 60W (7/24)

① YANG Qian (CHN)	628.7	251.8
② GALASHINA Anastasia (ROC)	628.5	251.1
③ CHRISTEN Nina (SUI)	628.5	230.6
④ DUESTAD Jeanette Hegg (NOR)	632.9	209.3
⑤ MULLER Oceanne (FRA)	630.7	187.7
⑥ TUCKER Mary Carolyn (USA)	631.4	166.0
⑦ KWON Eunji (KOR)	630.9	145.4
⑧ PARK Heemoon (KOR)	631.7	119.1
㊿ 中口 遥 (JPN)	622.2	
㊿ 平田しおり (JPN)	622.1	

25m Pistol 60W (7/29～30)

① BATSARASHKINA Vitalina (ROC)	586	23x	38 OR, S-off: 4
② KIM Minjung (KOR)	584	19x	38 OR, S-off: 1
③ XIAO Jiaruixuan (CHN)	587	27x	29
④ KOSTADINOVA Antoaneta (BUL)	590	16x	28
⑤ WU Chia-Ying (TPE)	584	22x	23
⑥ KORAKAKI Anna (GRE)	584	24x	18
⑦ VENNEKAMP Doreen (GER)	586	19x	14
⑧ TIEN Chia Chen (TPE)	584	24x	10
㊿ 佐々木千鶴 (JPN)	567	7x	
㊿ 山田 聡子 (JPN)	563	9x	

10m Air Pistol 60 (7/24)

① FOROUGHJI Javad (IRI)	580	25x	244.8
② MIKEC Damir (SRB)	578	21x	237.9
③ PANG Wei (CHN)	578	22x	217.6
④ KOROSTYLOV Pavlo (UKR)	581	15x	198.9
⑤ REITZ Christian (GER)	584	21x	176.6

50m Rifle 3-Positions 120W (7/31)

① CHRISTEN Nina (SUI)	1174	61x	463.9
② ZYKOVA Yulia (ROC)	1182	78x	461.9
③ KARIMOVA Yulia (ROC)	1177	61x	450.3

10m Air Rifle Mixed Team (7/27)

	(本選1次)	(本選2次)	(決勝)
① (CHN1) YANG Qian	316.2	633.2	208.0
YANG Haoran	317.0	211.7	419.7
② (USA1) TUCKER Mary Carolyn	311.6	628.0	209.3
KOZENIESKY Lucas	316.4	208.7	418.0
③ (ROC2) KARIMOVA Yulia	314.7	628.9	207.7
KAMENSKIY Sergey	314.2	209.4	417.1
④ (KOR1) KWON Eunji	316.4	630.5	209.0
NAM Taeyun	314.1	208.5	417.5
⑤ (ROC1) GALASHINA Anastasiia	314.5	629.8	207.5
MASLENNIKOV Vladimir	315.3	209.5	417.0
⑥ (USA2) WEISZ Alison Marie	312.9	629.7	206.5
SHANER William	316.8	210.3	416.8
⑦ (HUN) MESZAROS Eszter	311.8	627.9	206.6
PENI Istvan	316.1	208.0	414.6
⑧ (POL) STANKIEWICZ Aneta	315.7	630.8	207.8
BARTNIK Tomasz	315.1	206.2	414.0
⑬ (JPN1) 中口 遥	311.4	625.6	
岡田 直也	314.2		
㊿ (JPN2) 平田しおり	312.1	620.3	
松本 崇志	308.2		

10m Air Pistol Mixed Team (7/27)

	(本選1次)	(本選2次)	(決勝)
① (CHN1) JIANG Ranxin	292	581	19x
PANG Wei	289	195	16
② (ROC1) BATSARASHKINA Vitalina	289	581	19x
CHERNOUSOV Artem	292	194	14
③ (UKR) KOSTEVYCH Olena	292	580	20x
OMELCHUK Oleh	288	191	16
④ (SRB) ARUNOVIC Zorana	288	577	17x
MIKEC Damir	289	191	12
⑤ (IRI) ROSTAMIYAN Haniyeh	286	575	18x
FOROUGHJI Javad	289	196	13x
⑥ (CHN2) WANG Qian	283	576	13x
HE Zhengyang	293	190	12x
⑦ (IND1) BHAKER Manu	286	582	26x
SAURABH Chaudhary	296	194	11x
⑧ (AUS) ASPANDIYAROVA Dina	285	576	17x
REPACHOLI Daniel	291	191	11x
㊿ (JPN) 山田 聡子	277	559	11x
堀水宏次郎	282		

全日本ライフル射撃競技選手権大会 (BR/BP)

2021年7月10日(土)～11日(日)

全国分散開催(宮城県 nex 射撃場、和歌山県射撃場、熊本総合射撃場、沖縄県射撃場)

BRS60

① 吉田 陸矢 (佐賀清和)	628.4	249.2
② 松島 朔矢 (大垣日本大学高等学校)	626.7	247.5
③ 杉本 拓叶 (小松島高校)	622.9	226.4
④ 山田 崇太 (岐阜済美高校)	626.1	206.1
⑤ 永野 祥誠 (岐阜済美高校)	622.0	185.3
⑥ 松浦 悠斗 (鶯谷高等学校)	622.1	163.4
⑦ 尾崎 星那 (立正大学湘南高等学校)	620.7	142.0
⑧ 戸田 陽翔 (徳島県立小松島高校)	626.2	113.9
⑨ 横山 巧 (岐阜市立岐阜西中学校)	618.9	
⑩ 福岡 桂吾 (愛媛県立伊予農業高等学校)	618.8	
⑪ 三宅 真人 (大分県立津葉高等学校)	618.8	
⑫ 中山 大也 (徳島県立小松島高等学校)	618.7	
⑬ 前田 晴暉 (京都廣学館高等学校)	616.3	
⑭ 寒川 晶仁 (兵庫県ライフル射撃協会)	616.1	
⑮ 河本 弦希 (鶯谷高等学校)	615.0	
⑯ 吉野 拓海 (千葉黎明高等学校)	614.8	
⑰ 小笠原 真樹 (神奈川県)	614.4	
⑱ 小笠 航平 (徳島県立小松島高等学校)	614.3	
⑲ 鳥居 大雅 (鹿児島実業高校)	611.7	
⑳ 横山 一茶 (北海道科学大学高校)	609.9	
㉑ 矢田 勝聖 (和歌山県)	609.5	
㉒ 池谷 宇司 (徳島県立小松島高等学校)	609.0	
㉓ 近田 正都 (三重県ライフル射撃協会)	608.4	
㉔ 重村 太樹 (鹿児島実業高等学校)	608.1	
㉕ 清水 祐太 (城西高校)	607.0	
㉖ 樺野 広大 (徳島県立小松島高等学校)	606.9	
㉗ 和田 唯我 (沖縄県)	606.4	
㉘ 吉野 碧翔 (鹿児島実業)	606.1	
㉙ 香田 眞樹 (熊本県)	606.0	
㉚ 結城 光流 (北海道科学大学高等学校)	604.8	
㉛ 佐々木 勇毅 (熊本県)	602.8	
㉜ 高橋 大地 (徳島県立小松島高等学校)	602.2	
㉝ 高岡 優介 (愛知県ライフル射撃協会)	601.1	
㉞ 泡瀬 旺太郎 (仙台育英)	597.3	
㉟ 大谷 涼太 (和歌山県)	597.2	
㊱ 木村 伊織 (仙台育英)	596.5	
㊲ 糸井川 司 (岐阜ライフルクラブアカデミー)	595.1	
㊳ 工藤 達也 (徳島県立小松島高等学校)	594.8	
㊴ 中川 剛也 (城西高校)	593.8	
㊵ 熊木 聖太 (仙台育英)	588.8	
㊶ 太田 義克 (仙台育英)	587.5	
㊷ 早坂 洸哉 (仙台育英)	586.6	
㊸ 山路 空 (仙台育英)	580.9	
㊹ 工藤 凌太 (仙台育英)	580.0	
㊺ 遠藤 拓 (東北生活文化大学高等学校)	566.5	
㊻ 前田 隆成 (太宰府高校)	553.9	
㊼ 柳沼 日飛 (北海道科学大学高等学校)	533.2	
㊽ 森 誠人 (三重県)	518.5	
㊾ 東 潤 (沖縄県)	233.0	
㊿ 竹田 和倫 (沖縄県)	143.5	

BP60

① 久保 迅輝 (伊予農業高等学校)	556	5x 233.5
② 阿部 紘也 (阿南光高校)	531	5x 232.0
③ 杉本 創一郎 (大宰府高校)	544	3x 205.5
④ 高田 明 (茂原北陵高等学校)	534	8x 186.1
⑤ 前田 晴暉 (京都廣学館高等学校)	532	4x 165.5
⑥ 興田 一水 (文徳高校)	532	3x 146.8
⑦ 佐藤 宗哉 (由布高校)	536	4x 126.5
⑧ 長屋 佳芽 (岐阜ライフルアカデミー)	548	8x 104.4

⑨ 山崎 竜成 (愛媛県立伊予農業高等学校)	530	3x
⑩ 片山 直志 (福岡県太宰府高等学校射撃部)	527	1x
⑪ 小牧 凌牙 (三重県ライフル射撃協会)	522	5x
⑫ 佐々木 啓一 (三重県ライフル射撃協会)	512	8x
⑬ 加来 晴空翔 (大分県ライフル射撃協会)	511	3x
⑭ 久保山 紘多 (大分県ライフル射撃協会)	508	4x
⑮ 野村 一生 (大分県日出町立日出中学校)	492	1x
⑯ 牧野 航平 (北海道科学大学高校)	483	2x
⑰ 保里 千春 (北海道科学大学高校)	465	2x

BRS60W

① 長坂 夢 (阿南光高校)	625.5	251.0
② 浅利 弥由 (湘南学院高等学校)	624.0	249.3
③ 嘉部 恋 (西武学園文理高校)	629.6	228.6
④ 山田 百恵 (興南高校)	623.0	206.9
⑤ 熊尾 弥月 (徳島県立小松島高等学校)	625.9	184.8
⑥ 野村 奈生 (大分県立別府翔青高等学校)	627.1	162.8
⑦ 工藤 美羽 (由布高校)	625.9	141.9
⑧ 桃本 亜都 (徳島県立小松島高校)	629.6	121.5
⑨ 小牧 紗華 (鹿児島実業高校)	622.7	
⑩ 仲嵩 彩花 (興南高校)	622.7	
⑪ 岡田 美月 (済美高校)	622.3	
⑫ 松尾 好梨 (佐賀清和)	622.3	
⑬ 板橋 杏 (福岡県ライフル射撃協会)	620.7	
⑭ 梶原 ダリア (仙台育英)	619.8	
⑮ 岩尾 歩 (由布高校)	619.3	
⑯ 大城 遥愛 (つくば開成国際高校)	619.3	
⑰ 木村 美優 (兵庫県ライフル射撃協会)	619.1	
⑱ 吉田 菜留子 (済美高等学校)	618.6	
⑲ 武市 愛理 (仙台育英)	617.9	
⑳ 岡本 智彩葵 (愛媛県立伊予農業高等学校)	617.9	
㉑ 早川 乃愛 (済美高等学校)	617.8	
㉒ 乾 紗綺 (阿南光高校)	617.8	
㉓ 重久 結衣子 (鹿児島実業高校)	617.7	
㉔ 大島 千枝 (北海道科学大学高等学校)	617.6	
㉕ 大久保 茜里 (鹿児島実業高校)	617.5	
㉖ 堀坂 莉珠 (兵庫県)	615.8	
㉗ 土井 菜々花 (和歌山)	614.1	
㉘ 溝脇 楓 (鶯谷高等学校)	613.5	
㉙ 永松 真帆 (由布高校)	613.0	
㉚ 金城 七瑠 (つくば開成国際高校)	611.7	
㉛ 木下 真純 (和歌山)	611.4	
㉜ 草間 琉妃 (東北生活文化大学高等学校)	611.3	
㉝ 堂本 優奈 (徳島県立小松島高等学校)	609.8	
㉞ 吉田 楓華 (東北生活文化大学高等学校)	609.3	
㉟ 平野 佳那 (済美高等学校)	609.0	
㊱ 仲岡 大花 (N高)	608.5	
㊲ 山崎 梨来 (三重県)	608.3	
㊳ 木下 絵蓮 (和歌山)	608.3	
㊴ 橋本 歩実 (兵庫県)	608.1	
㊵ 小野 優華 (仙台育英)	608.0	
㊶ 心優 (埼玉県西武文理高校)	605.6	
㊷ 森竹 凜 (由布高校)	605.2	
㊸ 八幡 優月 (明石西)	602.7	
㊹ 高橋 花 (仙台育英)	602.6	
㊺ 牧野 珀久 (和歌山県)	601.6	
㊻ 尾関 亜香 (城西高校)	601.0	
㊼ 山下 未玖 (徳島県立小松島高等学校)	600.2	
㊽ 西 歩果 (城西高校)	599.8	
㊾ 村山 乃彩 (興南高校)	597.7	
㊿ 正路 生芽 (徳島県立小松島高等学校)	595.3	

① 八木 菜摘 (熊本県)	595.2
② 小林 まなみ (富沢中学校)	595.0
③ 村田 玲伊 (熊本県)	592.8
④ 高橋 智 (奈良県ライフル射撃協会)	591.8
⑤ 藤本 和 (仙台育英)	591.1
⑥ 入江 紗希 (京都廣学館高等学校)	590.3
⑦ 松本 乃々 (大分県)	580.6
⑧ 加藤 有紗 (兵庫県立明石西高等学校)	574.1
⑨ 和田 青峰 (沖縄県)	557.9
⑩ 金城 瑛南 (沖縄県)	530.1
⑪ 西川 侑那 (沖縄県ライフル射撃協会)	373.6

BP60W

① 羽田 向日葵 (立正大学湘南高等学校)	551	10x 231.5
② 東 晴七 (宇和島中等級育学校)	542	1x 223.7
③ 山田 実花 (北海道科学大学高校)	525	4x 204.0
④ 廣瀬 天美 (立正大学湘南高等学校)	529	7x 184.5
⑤ 吉野 莉菜 (立正大学湘南高等学校)	523	4x 166.6
⑥ 武市 愛理 (仙台育英)	553	8x 145.0
⑦ 齋藤 梨衣 (星槎国際横浜)	527	1x 124.5
⑧ 進藤 ひなた (岐阜ライフルクラブアカデミー)	521	5x 103.8
⑨ 野村 芽生 (大分県日出町立日出中学校)	515	0x
⑩ 宮部 樹 (由布高校)	510	0x
⑪ 桃井 しおり (山形県)	506	2x
⑫ 浜島 李香 (鹿児島実業)	505	0x
⑬ 清水 柑那 (松山市立久米中学校)	492	2x
⑭ 入江 紗希 (京都廣学館高等学校)	486	2x
⑮ 田中 陽彩 (大分県ライフル射撃協会)	483	0x
⑯ 若橋 琉可 (阿南光高校)	479	4x
⑰ 木崎 菜子 (奈良県ライフル射撃協会)	474	3x
⑱ 小倉 凜 (三重)	470	3x
⑲ 中尾 智慧 (大分県ライフル射撃協会)	466	3x

BRT60MW

① 阿部 裕紀子 (仙台育英教員)	619.3
② 金城 七瑠 (沖縄県)	615.2
③ 小笠原 真樹 (神奈川県)	585.4
④ 金城 瑛南 (沖縄県)	576.2

BRS60MW

① 桃本 亜都 (徳島県立小松島高校)	629.6
② 嘉部 恋 (西武学園文理高校)	629.6
③ 吉田 陸矢 (佐賀清和)	628.4
④ 野村 奈生 (大分県立別府翔青高等学校)	627.1
⑤ 松島 朔矢 (大垣日本大学高等学校)	626.7
⑥ 戸田 陽翔 (徳島県立小松島高校)	626.2
⑦ 山田 崇太 (岐阜済美高校)	626.1
⑧ 熊尾 弥月 (徳島県立小松島高等学校)	625.9
⑨ 工藤 美羽 (由布高校)	625.9
⑩ 長坂 夢 (阿南光高校)	625.5
⑪ 浅利 弥由 (湘南学院高等学校)	624.0
⑫ 山田 百恵 (興南高校)	623.0
⑬ 杉本 拓叶 (小松島高校)	622.9
⑭ 小牧 紗華 (鹿児島実業高校)	622.7
⑮ 仲嵩 彩花 (興南高校)	622.7
⑯ 岡田 美月 (済美高校)	622.3
⑰ 松尾 好梨 (佐賀清和)	622.3
⑱ 松浦 悠斗 (鶯谷高等学校)	622.1
⑲ 永野 祥誠 (岐阜済美高校)	622.0
㉑ 尾崎 星那 (立正大学湘南高等学校)	620.7
㉒ 板橋 杏 (福岡県ライフル射撃協会)	620.7

②② 梶原ダリア (仙台育英)	619.8	⑥⑤ 清水 祐太 (城西高校)	607.0	⑩⑧ 森 誠人 (三重県)	518.5
②③ 岩尾 歩 (由布高校)	619.3	⑥⑥ 椎野 広大 (徳島県立小松島西高等学校勝浦校)	606.9	⑩⑨ 西川 侑那 (沖縄県ライフル射撃協会)	373.6
②④ 大城 遼愛 (つくば開成国際高校)	619.3	⑥⑦ 和田 唯我 (沖縄県)	606.4	⑩⑩ 東 潤 (沖縄県)	233.0
②⑤ 木村 美優 (兵庫県ライフル射撃協会)	619.1	⑥⑧ 吉野 碧翔 (鹿児島実業)	606.1	⑩⑪ 竹田 和倫 (沖縄県)	143.5
②⑥ 横山 巧 (岐阜市立岐阜西中学校)	618.9	⑥⑨ 香田 眞樹 (熊本県)	606.0		
②⑦ 福岡 桂吾 (愛媛県立伊予農業高等学校)	618.8	⑦⑩ 橋本 心優 (埼玉県西武文理高校)	605.6		
②⑧ 三宅 真人 (大分県立中津東高等学校)	618.8	⑦⑪ 森竹 凜 (由布高校)	605.2		
②⑨ 中山 大也 (徳島県立小松島高等学校)	618.7	⑦⑫ 結城 光流 (北海道科学大学高等学校)	604.8		
③① 吉田菜留子 (済美高等学校)	618.6	⑦⑬ 佐々木勇毅 (熊本県)	602.8		
③② 武市 愛理 (仙台育英)	617.9	⑦⑭ 八幡 優月 (明石西)	602.7		
③③ 岡本智彩葵 (愛媛県立伊予農業高等学校)	617.9	⑦⑮ 高橋 花 (仙台育英)	602.6		
③④ 早川 乃愛 (済美高等学校)	617.8	⑦⑯ 高橋 大地 (徳島県立小松島西高等学校勝浦校)	602.2		
③⑤ 乾 紗綺 (阿南光高校)	617.8	⑦⑰ 牧野 瑠久 (和歌山県)	601.6		
③⑥ 重久結衣子 (鹿児島実業高校)	617.7	⑦⑱ 高岡 優介 (愛知県ライフル射撃協会)	601.1		
③⑦ 大島 千枝 (北海道科学大学高等学校)	617.6	⑦⑲ 尾関 亜音 (城西高校)	601.0		
③⑧ 大久保茜里 (鹿児島実業高校)	617.5	⑧① 山下 未玖 (徳島県立小松島西高等学校勝浦校)	600.2		
③⑨ 前田 晴暉 (京都廣学館高等学校)	616.3	⑧② 西 歩果 (城西高校)	599.8		
③⑩ 寒川 晶仁 (兵庫県ライフル射撃協会)	616.1	⑧③ 村山 乃彩 (興南高校)	597.7		
④① 堀坂 莉珠 (兵庫県)	615.8	⑧④ 泡淵荘太郎 (仙台育英)	597.3		
④② 河本 弦希 (鶯谷高等学校)	615.0	⑧⑤ 大谷 涼太 (和歌山県)	597.2		
④③ 吉野 拓海 (千葉黎明高等学校)	614.8	⑧⑥ 木村 伊織 (仙台育英)	596.5		
④④ フェビカケリヲム 結 (神奈川県)	614.4	⑧⑦ 正路 生芽 (徳島県立小松島西高等学校勝浦校)	595.3		
④⑤ 小笠 航平 (徳島県立小松島西高等学校勝浦校)	614.3	⑧⑧ 八木 菜摘 (熊本県)	595.2		
④⑥ 土井菜々花 (和歌山)	614.1	⑧⑨ 糸井川 司 (岐阜ライフルクラブアカデミー)	595.1		
④⑦ 溝脇 楓 (鶯谷高等学校)	613.5	⑧⑩ 小林まなみ (富沢中学校)	595.0		
④⑧ 永松 真帆 (由布高校)	613.0	⑧⑪ 工藤 達也 (徳島県立小松島西高等学校勝浦高)	594.8		
④⑨ 金城 七瑠 (つくば開成国際高校)	611.7	⑧⑫ 中川 剛亜 (城西高校)	593.8		
④⑩ 鳥居 大雅 (鹿児島実業高校)	611.7	⑧⑬ 村田 玲伊 (熊本県)	592.8		
⑤① 木下 真倫 (和歌山)	611.4	⑧⑭ 高橋 智 (奈良県ライフル射撃協会)	591.8		
⑤② 草間 琉妃 (東北生活文化大学高等学校)	611.3	⑧⑮ 藤本 和 (仙台育英)	591.1		
⑤③ 横山 一茶 (北海道科学大学高校)	609.9	⑧⑯ 入江 紗希 (京都廣学館高等学校)	590.3		
⑤④ 堂本 優奈 (徳島県立小松島西高等学校勝浦校)	609.8	⑧⑰ 熊木 聖太 (仙台育英)	588.8		
⑤⑤ 矢田 勝聖 (和歌山県)	609.5	⑧⑱ 太田 義克 (仙台育英)	587.5		
⑤⑥ 吉田 楓華 (東北生活文化大学高等学校)	609.3	⑧⑲ 早坂 洸哉 (仙台育英)	586.6		
⑤⑦ 池谷 宇司 (徳島県立小松島西高等学校勝浦校)	609.0	⑧⑳ 山路 空 (仙台育英)	580.9		
⑤⑧ 平野 佳那 (済美高等学校)	609.0	⑨① 松本 乃々 (大分県)	580.6		
⑤⑨ 仲間 大花 (N 高)	608.5	⑨② 工藤 凌太 (仙台育英)	580.0		
⑤⑩ 近田 正郁 (三重県ライフル射撃協会)	608.4	⑨③ 加藤 有紗 (兵庫県立明石西高等学校)	574.1		
⑥① 山崎 梨来 (三重県)	608.3	⑨④ 逸藤 拓 (東北生活文化大学高等学校)	566.5		
⑥② 木下 絵蓮 (和歌山)	608.3	⑨⑤ 和田 青峰 (沖縄県)	557.9		
⑥③ 橋本 歩実 (兵庫県)	608.1	⑨⑥ 前苗 隆成 (太宰府高校)	553.9		
⑥④ 重村 太樹 (鹿児島実業高等学校)	608.1	⑨⑦ 柳沼 日飛 (北海道科学大学高等学校)	533.2		
⑥⑤ 小野 優華 (仙台育英)	608.0	⑨⑧ 金城 瑛南 (沖縄県)	530.1		
				BP60MW	
				① 久保 迅輝 (伊予農業高等学校)	556 5x
				② 武市 愛理 (仙台育英)	553 8x
				③ 羽田向日葵 (立正大学松南高等学校)	551 10x
				④ 長屋 佳芽 (岐阜ライフルアカデミー)	548 8x
				⑤ 杉本創一郎 (大宰府高校)	544 3x
				⑥ 東 晴七 (宇和島南中等級育学校)	542 1x
				⑦ 廣瀬 天実 (立正大学松南高等学校)	539 7x
				⑧ 佐藤 宗哉 (由布高校)	536 4x
				⑨ 高田 明 (茂原北陵高等学校)	534 8x
				⑩ 前田 晴暉 (京都廣学館高等学校)	532 4x
				⑪ 興田 一水 (文徳高校)	532 3x
				⑫ 阿部 紘也 (阿南光高校)	531 5x
				⑬ 山崎 竜成 (愛媛県立伊予農業高等学校)	530 3x
				⑭ 齋藤 梨衣 (星槎国際横浜)	527 1x
				⑮ 片山 直志 (福岡県太宰府南高等学校射撃部)	527 1x
				⑯ 山田 実花 (北海道科学大学高校)	525 4x
				⑰ 吉野 莉菜 (立正大学松南高等学校)	523 4x
				⑱ 小牧 凌牙 (三重県ライフル射撃協会)	522 5x
				⑲ 進藤 ひなた (岐阜ライフルクラブアカデミー)	521 5x
				⑳ 野村 芽生 (大分県日出町立日出中学校)	515 0x
				㉑ 佐々木啓一 (三重県ライフル射撃協会)	512 8x
				㉒ 加来晴空翔 (大分県ライフル射撃協会)	511 3x
				㉓ 宮部 樹 (由布高校)	510 0x
				㉔ 久保山結多 (大分県ライフル射撃協会)	508 4x
				㉕ 桃井しおり (山形県)	506 2x
				㉖ 浜島 李香 (鹿児島実業)	505 0x
				㉗ 清水 柑那 (松山市立久米中学校)	492 2x
				㉘ 野村 一生 (大分県日出町立日出中学校)	492 1x
				㉙ 入江 紗希 (京都廣学館高等学校)	486 2x
				㉚ 牧野 航平 (北海道科学大学高校)	483 2x
				㉛ 田中 陽彩 (大分県ライフル射撃協会)	483 0x
				㉜ 岩橋 琉可 (阿南光高校)	479 4x
				㉝ 木崎 菜子 (奈良県ライフル射撃協会)	474 3x
				㉞ 小倉 凜 (三重)	470 3x
				㉟ 中尾 智慧 (大分県ライフル射撃協会)	466 3x
				㊱ 保里 千春 (北海道科学大学高校)	465 2x

2021年度 第59回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会

2021年8月8日(日)～11日(水)
広島県・つつがライフル射撃場

10m Air Rifle 40J (団体)

① 興南 (小浜章太、玉栄藍人、和田唯我)	1192.3
② 由布 (中野悠大、高塚日翔、土師蒼葵)	1182.6
③ 佐賀学園 (石田和久、馬場翔吾、田中研心)	1175.4
④ 栄北 (大野 直、宮下隼馬、富岡亮太)	1175.2
⑤ 島原工業 (小川拓真、柴田敏郎、西村藍斗)	1173.9
⑥ 小松島西勝浦 (椎野広大、高橋大地、小笠航平)	1170.5
⑦ 科学技術 (酒井涼多、竹内 悠、藤季光樹)	1166.8
⑧ 山辺 (嶋岡凜起、喜多翔吾、伊藤 巧)	1160.6
⑨ 金沢辰巳丘 (戸田彩人、山本楓斗、室谷内涼)	1154.2
⑩ 南砺福光南砺福野 (八田祐輔、高山 柊、橋爪千聖)	1154.0
⑪ 水口 (加納万里、岡 光志、横江 亮)	1146.3
⑫ 箕面自由学園 (横井優斗、松浦 翼、佐久間隼人)	1133.3
⑬ 茂原樟陽 (田澤康多、鈴木愛斗、加藤友温)	1133.0
⑭ 伊予農業 (小笠原壮太、徳本 俊、久保迅輝)	793.0
⑮ 久居 (野田晴紀、丹羽康太郎、長谷川海斗)	732.1

⑳ 高知小津 (柳田瑞季、寺村優杜、角田夕陽)	1094.9
㉑ 箕面自由学園 (前田一朗、重山翔、中谷篤生)	1033.9

10m Air Rifle 40WJ (団体)

① 栄北 (油井 茜、松澤美佑、姫野遥香)	1207.3
② 興南 (仲嵩彩花、屋宜さくら、山田百恵)	1206.8
③ 水口 (村田薫美、折田采花、岡本好未)	1200.8
④ 下館第一 (荒山末羽、竹村日那、山本麻綾)	1193.6
⑤ 英理女子学院 (佐野ほのか、三好真琳、須藤彩寧)	1188.6
⑥ 城南 (鈴江萌佳、中津美桜乃、西條帆花)	1183.9
⑦ 南砺福光南砺福野 (澤田愛華、渡辺柚沙、旭 夏希)	1180.8
⑧ 長崎東 (川添瞳子、梅本美里、平山瑞季)	1171.8
⑨ 野田学園 (藏重 碧、原田知優、村元柚月)	1157.9
⑩ 真岡北陵 (大塚沙奈、青木湖咲、松本季良々)	1157.4
⑪ 東九州龍谷 (矢治司依菜、楠木ひめか、新谷梨央)	1108.1
⑫ 箕面自由学園 (米良桃子、角脇輝映、野原梨紗子)	1092.9

BR60J (団体)

① 長崎南 (平 和寿、中川優希、森 涼太)	1241.0
② 小松島 (中山大也、戸田陽翔、杉本拓叶)	1239.3
③ 明和県立 (反町柊一、千木良楓、小林瑠也)	1228.7
④ 済美 (西川正真、山田崇太、笠野祥誠)	1228.2
⑤ 立正大沁南 (尾崎星那、永田涼介、木川佑真)	1217.9 4s304.4
⑥ 鹿児島実業 (吉野碧翔、鳥居大雅、年増貴博)	1217.9 4s303.4
⑦ 滋賀学園 (大田陽生、奥村侑平、後藤琉希)	1216.7
⑧ 栄北 (伊藤楓馬、竹田 翼、栗栖光輝)	1212.2
⑨ 伊予農業 (福岡桂吾、河野亮太、加藤一樹)	1205.3
⑩ 北海道科学大 (横山一茶、結城光流、大窪佑吏)	1203.9
⑪ 実初 (田尻智樹、土田健登、梶平 元)	1202.7
⑫ 海老名 (金野律哉、佐伯隆隆、笠井優真)	1198.3
⑬ 明大中野 (小松大騎、森田一颯、坪内 渉)	1196.1
⑭ 京都廣学館 (前田晴暉、吉田大和、澤 宏樹)	1193.3
⑮ 笛吹 (菅野和樹、風間大輝、広瀬竜弥)	1191.3
⑯ 真岡北陵 (榎本琉星、三村夢生、早川 柊)	1186.3
⑰ 山形城北 (原田深心、武田仁和、設楽晏斗)	1181.3
⑱ 東北 (神部直幸、三嶋春葵、柴田飛延)	1178.7
⑲ 高瀬 (森山舜太、杉山鳳飛、大西漢斗)	1176.9
⑳ 倉敷翠松 (光畑孝盛、須藤光平、洲脇光矢)	1176.5
㉑ 由布 (河野友宏、大口海心、野村秀輝)	1175.2
㉒ 久居 (中村 竜、金野志生、近田正都)	1163.8
㉓ 豊田南 (高田隆生、岩堀翔真、小林聖弥)	1160.2
㉔ 竜ヶ崎第一 (福元瑠音、太田智也、上野 航)	1152.9
㉕ 志賀 (栗山幸輝、出口陽人、平 夢叶)	1152.2
㉖ 南砺福光南砺福野 (大原士佑、重平大智、辻 元太)	1151.7
㉗ 科学技術 (三原瑚白、古木翔大、田中雄翔)	1147.7
㉘ 加計 (福山晴都、松枝友輝、藤村芳照)	1133.6
㉙ 明石西 (三上瑛士、ジョウシンスイ寿春明、椿谷元基)	1116.5
㉚ 鳥取東 (中原 聡、山下洗貴、大角絢輝)	1097.9

BR40WJ (団体)

① 国際学院 (加藤那々実、鈴木智晴、柳澤 灯)	1238.8
② 済美 (岡田美月、吉田菜留子、早川乃愛)	1235.5
③ 英理女子学院 (山本夏美、小宮弥月、磯ヶ谷有綯)	1235.3 4s307.7
④ 城南 (山下莉央、松浦実穂、木村友梨香)	1235.3 4s306.5
⑤ 倉敷翠松 (小野菜緒美、鶴川奏莉、近藤 圭)	1234.0
⑥ 由布 (工藤美羽、永松真帆、森竹 凜)	1229.8
⑦ 取手第一 (平田成実、西柳来未、大澤実咲)	1222.7
⑧ 加計 (平田莉菜、玉垣柚珠乃、木下和奏)	1220.3
⑨ 南陽 (平田夏寧、小林音楽、大竹くるみ)	1217.1
⑩ 東北生文大 (森有理紗、草間琉妃、吉田楓華)	1210.0
⑪ 明石西 (橋本歩実、堀坂莉珠、八幡優月)	1208.9
⑫ 長崎南 (大庭菜凜、江崎彩乃、大宅純礼)	1208.4
⑬ 茂原 (横山夢乃、田中エリナ、内山未蘭)	1205.2
⑭ 真岡北陵 (大塚愛来、鈴木仁子、上野唯愛)	1200.4
⑮ 南砺福光南砺福野 (寺田佑里香、吉田七愛、今井 怜)	1199.8
⑯ 足羽 (磯捺々花、中山穂果、伊藤千華)	1197.1
⑰ 鹿児島実業 (小牧紗華、林 沙希、重久結衣子)	1195.9
⑱ 内子 (山橋慧柊里、金元愛美、泉 摩阿)	1194.7
⑲ 中大附属 (星澤真依、田中慧子、小泉百萌子)	1191.5
⑳ 日大東北 (橋本青依、石川光流、澤井亜美花)	1186.1
㉑ 高知農業 (千光士花月、戸嵜佳苗、西田姫奈)	1185.4
㉒ 立正大沁南 (野田爽奈、吉野莉菜、松尾明優奈)	1181.8
㉓ 高瀬 (次田彩香、牧 凜香、相馬今菜)	1178.9
㉔ 岩津 (戸田琴野、大嶋彩由奈、山田萌奈未)	1164.4
㉕ 笛吹 (中込めぐみ、橋田奈海、志村琴美)	1163.6
㉖ 大和中央 (笹田美空、池田花音、鎌塚友結)	1157.6
㉗ 久居 (山崎梨来、小川月渚、井上心優)	1154.1
㉘ 津幡 (林夕美菜、竹中菜乃菜、西田美乃)	1140.9
㉙ 鳥取東 (岡村梨央、霜里風花、前田清花)	1059.5

10m Air Rifle 40J

① 元木 将人 (城北)	408.7 245.1
② 玉栄 藍人 (興南)	406.8 241.3
③ 柳沢 充 (長野工業)	401.0 220.3
④ 松島 朔矢 (大垣日大)	404.3 199.9
⑤ 高塚 日翔 (由布)	403.2 180.1
⑥ 末次 皇輝 (文徳)	403.2 157.1
⑦ 松浦 悠斗 (鶯谷)	403.8 136.1
⑧ 吉野 拓海 (千葉黎明)	403.8 113.8
⑨ 湊 祐貴 (明大中野)	400.1
⑩ 中島 謙心 (国際学院)	400.0

⑪ 西村 藍斗 (島原工業)	399.4
⑫ 池井戸尚輝 (関有知)	399.4
⑬ 伊藤 巧 (山辺)	398.6
⑭ 小笠 航平 (小松島西勝浦)	398.5
⑮ 大月 柊人 (下妻第二)	398.4
⑯ 大橋 拓海 (明大中野)	398.3
⑰ 福和 大記 (立正大沁南)	397.3
⑱ 石田 和久 (佐賀学園)	396.8
⑲ 河本 弦希 (鶯谷)	396.5
⑳ 松原 怜臣 (栄北)	396.5
㉑ 田澤 康多 (茂原樟陽)	396.3

㉒ 大野 直 (栄北)	396.2
㉓ 池田 優希 (鹿児島実業)	396.0
㉔ 竹内 悠 (科学技術)	394.9
㉕ 和田 唯我 (興南)	394.7
㉖ 宮内 晴巨 (北陵)	394.0
㉗ 富岡 亮太 (栄北)	393.1 4s101.4
㉘ 森保 信輝 (長崎東)	393.1 4s99.0
㉙ 田中 研心 (佐賀学園)	392.7
㉚ 中野 悠大 (由布)	392.4
㉛ 江崎 大河 (城南)	392.2
㉜ 佐久間隼人 (箕面自由学園)	391.5

記録集

③③ 佐々木匠都 (加計)	391.4		⑨ 平 和寿 (長崎南)	412.4	⑦④ 大口 海心 (由布)	398.3	
③④ 小浜 章太 (興南)	390.8		⑩ 西岡 和侔 (城南)	412.3	⑦⑤ 上田 大貴 (加計)	398.1	
③⑤ 中山 翔睦 (下館第二)	390.7		⑪ 年増 貴博 (鹿児島実業)	411.8	⑦⑥ 近田 正都 (久居)	397.8	
③⑥ 阿部 海斗 (明和県央)	389.7		⑫ 前田 晴暉 (京都廣学館)	411.6	⑦⑦ 三嶋 春葵 (東北)	397.7	
③⑦ 徳本 俊 (伊予農業)	389.7	4s98.5	⑬ 渡辺 皓太 (茂原)	411.2	⑦⑧ 吉野 碧翔 (鹿児島実業)	397.0	4s99.4
③⑧ 岡田 航大 (下関工科)	389.6		⑭ 福岡 桂吾 (伊予農業)	411.0	⑦⑨ 古川 雅人 (茂原)	397.0	4s95.6
③⑨ 橋爪 千聖 (南砺福光)	389.5		⑮ 結城 光流 (北海道科学大)	410.9	⑧① 奥村 仁晴 (北桑田)	396.4	
④① 大隅 望夢 (野田学園)	389.2		⑯ 関 海唯斗 (鬼怒商業)	410.1	⑧② 古木 大智 (科学技術)	396.1	4s101.2
④② 熊坂 紘平 (日大東北)	389.1		⑰ 尾崎 星那 (立正大沁南)	410.0	⑧③ 河野 怜恩 (内子)	396.1	4s100.2
④③ 綾部 藍士 (島原工業)	387.7		⑱ 松村 颯真 (関有知)	409.7	⑧④ 前箇 隆成 (太宰府)	396.1	4s97.4
④④ 山本 楓斗 (金沢辰巳丘)	387.6		⑲ 中山 大也 (小松島)	408.7	⑧⑤ 白武 翔太 (佐賀学園)	395.8	
④⑤ 谷口 斗輝 (和歌山東)	387.5		⑳ 反町 柁一 (明和県央)	408.5	⑧⑥ 風間 大輝 (笛吹)	395.6	
④⑥ 高藤 混一 (鳥取東)	387.1	4s98.6	㉑ 大洞 光平 (鶯谷)	408.5	⑧⑦ 重平 大智 (南砺福野)	395.3	
④⑦ 横江 亮 (水口)	387.1	4s97.2	㉒ 三宅 真人 (中津東)	408.2	⑧⑧ 森田 一颯 (明大中野)	395.2	
④⑧ 土師 蒼葵 (由布)	387.0		㉓ 古西 央人 (阿南光)	408.0	⑧⑨ 箱崎 晋一 (立正大沁南)	394.6	
④⑨ 中村 和桜 (中大附属)	386.9		㉔ 木川 佑真 (立正大沁南)	408.0	⑧⑩ 銅座 卓 (東九州龍谷)	394.5	
④⑩ 八田 祐輔 (南砺福光)	386.2		㉕ 川上 優 (長崎北)	407.8	⑧⑪ 南 律輝 (鹿児島実業)	394.4	
⑤① 藤季 光樹 (科学技術)	386.0		㉖ 金野 律哉 (海老名)	407.4	⑧⑫ 宮川 皓平 (水口)	394.3	
⑤② 宮下 隼馬 (栄北)	385.9	4s96.6	㉗ 関口 慈英 (国際学院)	407.1	⑧⑬ 大西 溪斗 (高瀬)	394.1	
⑤③ 酒井 凉多 (科学技術)	385.9	4s94.4	㉘ 江畑 俊亮 (栄北)	407.0	⑧⑭ 大窪 祐吏 (北海道科学大)	393.8	
⑤④ 馬場 翔吾 (佐賀学園)	385.9	4s91.5	㉙ 設楽 晏斗 (山形城北)	406.7	⑧⑮ 森山 舜太 (高瀬)	393.7	
⑤⑤ 水柿 蓮音 (岩瀬)	385.6		㉚ 高橋 洸陽 (国際学院)	406.7	⑧⑯ 栗山 幸輝 (志賀)	393.5	
⑤⑥ 戸田 彩人 (金沢辰巳丘)	384.8		㉛ 岩堀 翔真 (豊田南)	406.6	⑧⑰ 吉田 大和 (京都廣学館)	393.1	
⑤⑦ 酒井 陽祐 (東九州龍谷)	384.6		㉜ 千木良 楓 (明和県央)	406.5	⑧⑱ 菅野 和樹 (笛吹)	393.0	
⑤⑧ 高橋 大地 (小松島西勝浦)	384.5		㉝ 伊藤 楓馬 (栄北)	405.5	⑧⑲ 野沢 楓馬 (真岡北陵)	392.6	
⑤⑨ 布野俊一朗 (立正大沁南)	384.3		㉞ 北川 彪牙 (神港学園)	405.2	⑧⑳ 野田 仁和 (山形城北)	392.1	
⑤⑩ 加納 万里 (水口)	384.0		㉟ 足立 夕季 (済美)	404.9	⑧㉑ 柴田 飛延 (東北)	391.9	
⑥① 喜多 翔吾 (山辺)	383.8		㊱ 土田 健登 (実初)	404.4	⑧㉒ 与儀 亮太 (神港学園)	391.8	
⑥② 岡崎 伊吹 (日野)	382.7		㊲ 大原 士侑 (南砺福野)	404.3	⑧㉓ 都築 新太 (豊田南)	391.0	
⑥③ 室谷内 涼 (金沢辰巳丘)	381.8		㊳ 平田祐希斗 (神港学園)	404.2	⑧㉔ 100.7 中村 竜 (久居)	390.9	
⑥④ 林 俊太 (長崎東)	381.2		㊴ 海本 賢星 (高松農業)	404.2	⑧㉕ 100.2 丸山 航輝 (加計)	390.4	4s103.5
⑥⑤ 飯泉龍太郎 (下館第二)	380.8		㊵ 奥村 侑平 (滋賀学園)	404.1	⑧㉖ 社本 将弘 (安城)	390.4	4s98.1
⑥⑥ 丹羽康太郎 (久居)	379.7		㊶ 山本 隼汰 (内子)	404.0	⑧㉗ 坂入 澄 (取手第一)	390.4	4s97.3
⑥⑦ 高山 柁 (南砺福野)	378.3		㊷ 河野 雄暉 (東村山)	404.0	⑧㉘ 4s99.4 藤村 芳照 (加計)	390.0	4s99.2
⑥⑧ 嶋岡 凜起 (山辺)	378.2		㊸ 高瀬 友成 (長崎東)	403.7	⑧㉙ 100 河野 友宏 (由布)	390.0	4s96.0
⑥⑨ 久保 迅輝 (伊予農業)	377.4		㊹ 野嶽 孝太 (鳥取城北)	403.6	⑧㉚ 藤村 有希 (神港学園)	389.8	
⑥⑩ 見好 瑠修 (野田学園)	376.9		㊺ 榎本 琉星 (真岡北陵)	403.2	⑧㉛ 笠井 優真 (海老名)	389.6	
⑦① 岡 光志 (水口)	375.2		㊻ 鈴木 孝太 (東北生文大)	403.1	⑧㉜ 11 赤松 昌 (日大東北)	389.2	
⑦② 鷺見 駿弥 (郡上北)	374.9		㊼ 辻村 友希 (加計)	402.9	⑧㉝ 102 112 杉山 鳳飛 (高瀬)	389.1	
⑦③ 中川 剛亜 (城西)	374.3		㊽ 櫻井 貴志 (真岡北陵)	402.9	⑧㉞ 4s99.7 113 米山 楓一 (海老名)	389.0	
⑦④ 松本 健吾 (水口)	373.3		㊾ 上野 航 (竜ヶ崎第一)	402.7	⑧㉟ 4s102.0 114 澤 宏樹 (京都廣学館)	388.6	
⑦⑤ 小島 翔太 (金沢辰巳丘)	371.9		㊿ 高橋 崇文 (加計)	402.7	⑧㊱ 4s101.9 115 砂田丞太郎 (南砺福野)	388.4	
⑦⑥ 松浦 翼 (箕面自由学園)	371.2		① 広瀬 竜弥 (笛吹)	402.6	⑧㊲ 4s101.7 116 新田 洸明 (津幡)	387.9	
⑦⑦ 小川 智也 (明和県央)	370.6	4s93.6	② 眞下 義士 (国際学院)	402.6	⑧㊳ 117 野村 秀雅 (由布)	386.9	
⑦⑧ 横井 優斗 (箕面自由学園)	370.6	4s90.9	③ 河野 亮太 (伊予農業)	402.3	⑧㊴ 118 三村 夢生 (真岡北陵)	386.8	
⑦⑨ 鈴木 愛斗 (茂原樟陽)	369.8		④ 洲脇 光矢 (倉敷翠松)	402.0	⑧㊵ 119 永田 昌之 (科学技術)	386.1	
⑦⑩ 後藤 孝太 (南陽)	368.1		⑤ 佐々木勇毅 (マリスト)	401.7	⑧㊶ 120 須藤 光平 (倉敷翠松)	385.0	
⑧① 加藤 友温 (茂原樟陽)	366.9		⑥ 藤井 喬也 (鬼怒商業)	401.5	⑧㊷ 121 脊戸 琉成 (南砺福野)	383.4	
⑧② 峯本 夢晏 (伊予農業)	357.2		⑦ 佐伯 隆綺 (海老名)	401.3	⑧㊸ 122 野田 拓三 (甲府城西)	383.1	
⑧③ 鬼丸凜太郎 (三浦学苑)	356.2		⑧ 足達 弘隆 (長崎東)	401.2	⑧㊹ 123 平本 元気 (山辺)	382.8	
⑧④ 繁本 悠希 (東九州龍谷)	355.9		⑨ 山村 悠登 (足羽)	400.9	⑧㊺ 124 原田 深心 (山形城北)	382.5	
⑧⑤ 長谷川海斗 (久居)	352.4		⑩ 木村 伊織 (仙台育英学園)	400.6	⑧㊻ 125 朝本 諒祐 (金沢辰巳丘)	381.7	
⑧⑥ 廣野 義人 (園部)	350.5		⑪ 三木 和輝 (立正大沁南)	400.5	⑧㊼ 126 平 夢叶 (志賀)	381.5	
⑧⑦ 山内 力樹 (金沢辰巳丘)	313.7		⑫ 小松 大騎 (明大中野)	400.5	⑧㊽ 4s99.9 127 高橋 良輔 (水口)	380.8	
⑧⑧ 小笠原壮太 (伊予農業)	25.9		⑬ 坪内 涉 (明大中野)	400.4	⑧㊾ 4s101.3 128 高田 隆生 (豊田南)	380.5	4s97.5
			⑭ 武藤 悠 (日大櫻丘)	400.4	⑧㊿ 4s100.8 129 早川 達也 (山辺)	380.5	4s96.9
			⑮ 瀬田 直樹 (高梁城南)	400.4	⑨① 4s99.3 130 栗田 陸 (海老名)	379.3	
			⑯ 大田 陽生 (滋賀学園)	400.1	⑨② 131 上田 朔也 (伊予農業)	378.9	
			⑰ 永田 凉介 (立正大沁南)	399.9	⑨③ 132 三原 瑚白 (科学技術)	378.1	
			⑱ 田尻 智樹 (実初)	399.6	⑨④ 133 山口 陽人 (志賀)	377.2	
			⑲ 田中愛琉志 (高梁城南)	399.5	⑨⑤ 134 金野 志生 (久居)	375.1	
			⑲ 本田 裕太 (真岡北陵)	399.4	⑨⑥ 135 相馬 拓哉 (山形城北)	374.3	
			⑲ 横山 一茶 (北海道科学大)	399.2	⑨⑦ 136 山下 真典 (安城)	374.2	4s95.1
			⑲ 今田 奏音 (神港学園)	398.8	⑨⑧ 137 濱田 梓吹 (春野)	374.2	4s94.2
			⑲ 梅平 元 (実初)	398.7	⑨⑨ 138 望月 虹 (笛吹)	373.8	

記録集

⑬ 高橋 凌 (大和中央)	373.5	4s95.6	⑤ 大野 結晶 (筑波大附属)	391.9	② 岩崎 百香 (実初)	412.0
⑭ 田中 雄翔 (科学技術)	373.5	4s93.2	⑥ 小林 未歩 (国際学院)	391.5	⑤ 今井 怜 (南砺福野)	411.6
⑮ 工藤 凌太 (仙台育英学園)	372.3		⑦ 田中 聖乃 (久居)	391.4	⑥ 岡田 美月 (済美)	411.4
⑯ 大角 紘輝 (鳥取東)	370.4		⑧ 藤井 弥雅 (立正大浜南)	391.1	⑦ 大城 遥愛 (つくば開成国際)	411.3
⑰ 森光 亮太 (高知)	370.0		⑨ 岩間 萌恵 (笛吹)	390.9	⑧ 大城 遥愛 (つくば開成国際)	411.3
⑱ 足立 律知 (茨木)	369.9		⑩ 鈴江 萌佳 (城南)	389.6	⑨ 木暮 裕菜 (明和県央)	411.1
⑲ 寺村 優杜 (高知小津)	369.6		⑪ 小林 未奈 (園部)	389.5	⑩ 伊藤 千華 (足羽)	410.0
⑳ 中原 聡 (鳥取東)	368.9		⑫ 佐藤 陽和 (東海大望洋)	388.9	⑪ 佐藤凜杏来 (高梁城南)	409.7
㉑ 入江 真立 (京都廣学館)	365.0		⑬ 木下 絵蓮 (粉河)	388.9	⑫ 横山 夢乃 (茂原)	409.2
㉒ 太田 智也 (竜ヶ崎第一)	359.6		⑭ 松本季良々 (真岡北陵)	388.7	⑬ 永松 真帆 (由布)	409.2
㉓ 山下 沈貴 (鳥取東)	358.6		⑮ 鈴木 祥乃 (茂原)	388.1	⑭ 北尾依舞葵 (長崎東)	409.1
㉔ 浦田 歩武 (高知)	358.5		⑯ 浅利 弥由 (湘南学院)	388.0	⑮ 山本 涼葉 (豊田南)	408.6
㉕ 深谷 勇紀 (日野)	357.2		⑰ 若山 佳奈 (関有知)	387.5	⑯ 山本 涼葉 (豊田南)	408.6
㉖ 佐藤 俊輔 (山形城北)	355.9		⑱ 喜多菜々美 (城南)	385.9	⑰ 石井 椿香 (伊勢原)	408.3
㉗ 辻 元太 (南砺福光)	352.1		⑲ 渡辺 柚沙 (南砺福光)	385.1	⑱ 米丸空瑠美 (安城)	408.3
㉘ 角田 夕陽 (高知小津)	351.3		⑳ 大塚 沙奈 (真岡北陵)	384.4	⑲ 重久結衣子 (鹿児島実業)	408.2
㉙ 重山 翔 (箕面自由学園)	349.8		㉑ 菅原志唯奈 (東北)	384.3	㉑ 小林 音葉 (南陽)	408.0
㉚ 深川 玲 (大和中央)	347.8		㉒ 青木 湖咲 (真岡北陵)	384.3	㉒ 橋本 歩実 (明石西)	407.7
㉛ 前田 一郎 (箕面自由学園)	327.4		㉓ 矢治司依菜 (東九州龍谷)	383.8	㉓ 門澤世莉奈 (佐倉東)	407.1
			㉔ 平田 蓮奈 (志賀)	383.0	㉔ 上村 優梨 (取手第一)	407.1
			㉕ 原田 知優 (野田学園)	382.9	㉕ 高橋 及都 (日大櫻丘)	407.0
			㉖ 新谷 梨央 (東九州龍谷)	382.2	㉖ 黒木 優 (由布)	407.0
			㉗ ハツ繁幸奈 (太宰府)	382.0	㉗ 仲間 大花 (N高)	406.9
			㉘ 木崎 菜子 (山辺)	382.0	㉘ 大宅 純礼 (長崎南)	406.9
			㉙ 前田 捺美 (倉敷翠松)	382.0	㉙ 高石 瞳 (栄北)	406.8
			㉚ 江藤 凜 (由布)	381.8	㉚ 泉 摩阿 (内子)	406.6
			㉛ 田中 万陽 (鳥取敬愛)	381.7	㉛ 磯ヶ谷有絢 (英理女子学院)	406.6
			㉜ 田中 綾音 (鳥取東)	378.1	㉛ 玉垣柚珠乃 (加計)	406.5
			㉝ 加藤 桃絵 (久居)	376.6	㉜ 小野葉緒美 (倉敷翠松)	406.5
			㉞ 米良 桃子 (箕面自由学園)	375.9	㉝ 原田 華帆 (日大櫻丘)	406.0
			㉟ 村元 柚月 (野田学園)	374.3	㉞ 八幡 優月 (明石西)	405.7
			㊱ 中川 花音 (金沢辰巳丘)	374.2	㉞ 橋本 心優 (西武学園文理)	405.7
			㊲ 倉田 汐里 (伊予農業)	374.1	㉞ 金城 七瑠 (つくば開成国際)	405.6
			㊳ 平野 佳那 (済美)	374.1	㉞ 草間 琉妃 (東北生文大)	405.4
			㊴ 渡辺 凌 (文徳)	372.0	㉞ 中村 心紅 (滋賀学園)	405.3
			㊵ 高橋奈々美 (日野)	371.4	㉞ 平田 成実 (取手第一)	405.2
			㊶ 渡辺 凜 (文徳)	368.5	㉞ 猶原 宏海 (千種)	404.9
			㊷ 辻野 心 (金沢辰巳丘)	364.8	㉞ 鈴木 仁子 (真岡北陵)	404.9
			㊸ 野原梨紗子 (箕面自由学園)	364.6	㊱ 新宅ひかる (科学技術)	404.8
			㊹ 角脇 輝映 (箕面自由学園)	352.4	㊱ 入川 緋李 (北海道科学大)	404.6
					㊱ 村田 玲伊 (ルーテル学院)	404.4
					㊱ 澤井亜美花 (日大東北)	404.1
					㊱ 西川 ひな (高松農業)	403.7
					㊱ 末永 萌 (太宰府)	403.7
					㊱ 小野 優華 (仙台育英学園)	403.7
					㊱ 山下 莉央 (城南)	403.6
					㊱ 野村 彩智 (豊田南)	403.6
					㊱ 早坂 彩花 (山形城北)	403.3
					㊱ 橋本もえ花 (真岡北陵)	403.0
					㊱ 川辺 美和 (伊勢原)	402.8
					㊱ 小林 和奈 (真岡北陵)	402.7
					㊱ 加藤 彩季 (日大東北)	402.7
					㊱ 森 有理紗 (東北生文大)	402.5
					㊱ 米田伊采希 (郡上北)	402.3
					㊱ 岩尾 歩 (由布)	402.3
					㊱ 吉田 楓華 (東北生文大)	402.1
					㊱ 山崎 梨来 (久居)	401.9
					㊱ 高橋 美麗 (豊田南)	401.5
					㊱ 山下 未玖 (小松島西勝浦)	401.4
					㊱ 秦 陽乃 (千種)	401.2
					㊱ 鎌塚 友結 (大和中央)	401.1
					㊱ 田中エリナ (茂原)	401.0
					㊱ 大塚 愛来 (真岡北陵)	400.5
					㊱ 入江 紗希 (京都廣学館)	400.3
					㊱ 高山 樹里 (志賀)	400.0

10m Air Rifle 40WJ

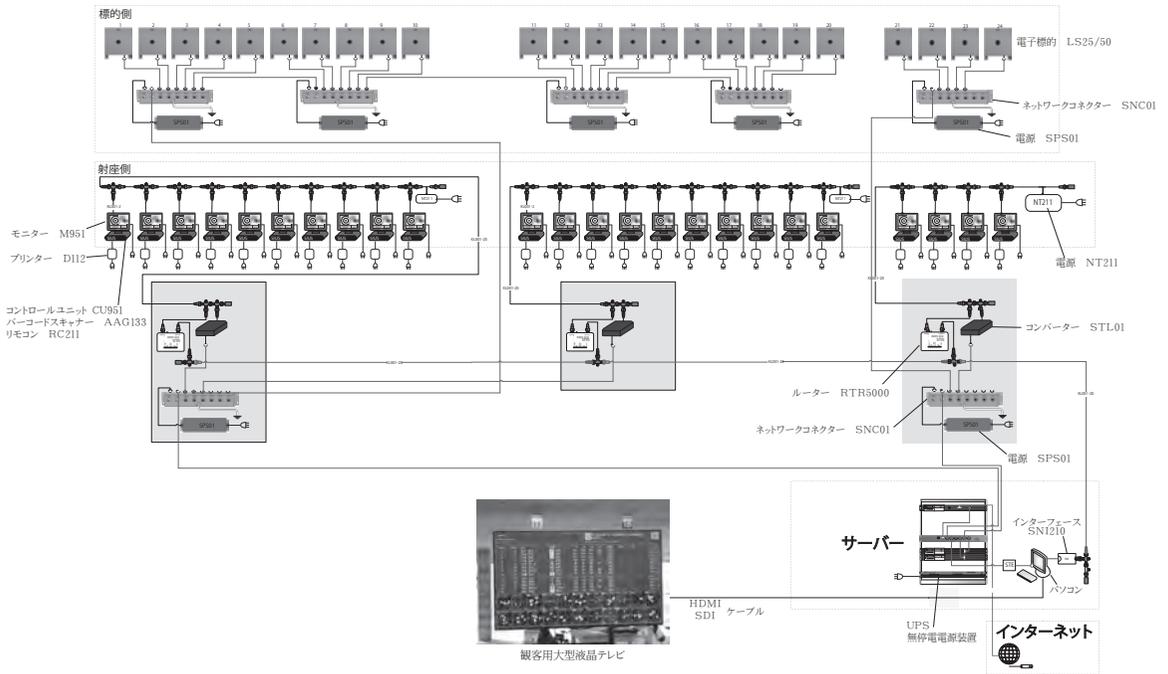
① 山田 百恵 (興南)	408.9	244.8
② 野畑 美咲 (由布)	411.2	244.6
③ 姫野 遥香 (栄北)	410.3	222.0
④ 馬淵 音羽 (関有知)	406.1	200.3
⑤ 前山 夏子 (弘学園)	406.5	179.3
⑥ 白石 光里 (鹿児島実業)	407.2	159.1
⑦ 山田 咲来 (成立学園)	414.5	138.1
⑧ 堂本 優奈 (小松島西勝浦)	405.2	113.0
⑨ 村松 佳香 (藤枝明誠)	404.9	
⑩ 田端みのり (長崎東)	404.0	
⑪ 大島あかり (長崎北)	403.4	
⑫ 嘉部 恋 (西武学園文理)	402.7	
⑬ 岡本 好未 (水口)	401.9	4s100.9
⑭ 村田 薫美 (水口)	401.9	4s98.6
⑮ 屋宜さくら (興南)	401.6	4s101.6
⑯ 板橋 杏 (ありあけ新世)	401.6	4s99.1
⑰ 永川 光咲 (鳥原工業)	401.4	
⑱ 藏重 碧 (野田学園)	400.7	
⑲ 正路 生芽 (小松島西勝浦)	400.5	
⑳ 中島 凜 (米子東)	400.3	
㉑ 荒山 未羽 (下館第一)	399.8	
㉒ 安達 芹香 (南砺福野)	399.5	
㉓ 村中 美月 (土佐)	399.1	
㉔ 山本 麻綾 (下館第一)	398.9	
㉕ 旭 夏希 (南砺福光)	398.8	
㉖ 田中 凜 (栄北)	398.3	
㉗ 佐野ほのか (英理女子学院)	398.1	
㉘ 下谷 美鷲 (郡上北)	397.8	
㉙ 油井 茜 (栄北)	397.7	
㉚ 熊尾 弥月 (小松島西勝浦)	397.1	
㉛ 折田 采花 (水口)	397.0	
㉜ 澤田 愛華 (南砺福野)	396.9	4s101.3
㉝ 梅本 美里 (長崎東)	396.9	4s99.2
㉞ 仲嵩 彩花 (興南)	396.3	
㉟ 有本 佳歩 (鳥取敬愛)	396.1	
㊱ 豊島 美柚 (水口)	395.7	
㊲ 須藤 彩寧 (英理女子学院)	395.4	
㊳ 三好 真琳 (英理女子学院)	395.1	
㊴ 竹村 日那 (下館第一)	394.9	
㊵ 伊藤菜々子 (東海大望洋)	394.7	
㊶ 西山 実菜 (水口)	394.6	
㊷ 平山 瑞季 (長崎東)	393.5	
㊸ 牧野 珀久 (りら創造芸術)	393.1	
㊹ 酒井 綾乃 (科学技術)	392.2	

BR40WJ

① 竹下 愛美 (志学館)	415.7	248.2
② 桃本 亜都 (小松島)	417.6	246.3
③ 小牧 紗華 (鹿児島実業)	416.5	224.8
④ 野村 奈生 (別府翔青)	416.5	204.8
⑤ 山本 夏美 (英理女子学院)	415.7	184.6
⑥ 早坂 彩花 (山形城北)	418.3	154.2
⑦ 新保 真珠 (鶯谷)	415.9	133.6
⑧ 木下 和奏 (加計)	416.7	121.9
⑨ 木村友梨香 (城南)	415.3	
⑩ 野村 真優 (佐倉西)	414.8	
⑪ 長坂 夢 (阿南光)	414.3	
⑫ 小山 音寧 (関有知)	414.2	4s105.5
⑬ 鶴川 奏莉 (倉敷翠松)	414.2	4s103.4
⑭ 平田 夏寧 (南陽)	414.0	
⑮ 大澤 実咲 (取手第一)	413.9	
⑯ 森竹 凜 (由布)	413.6	
⑰ 柳澤 灯 (国際学院)	413.1	4s104.0
⑱ 松尾 好梨 (佐賀清和)	413.1	4s103.9
⑲ 小宮 弥月 (英理女子学院)	413.0	4s104.6
⑳ 鈴木 智晴 (国際学院)	413.0	4s101.9
㉑ 大島 千枝 (北海道科学大)	412.7	4s105.1
㉒ 加藤那々美 (国際学院)	412.7	4s103.2
㉓ 加藤 小船 (明和県央)	412.4	

88) 山口日菜佳(長崎東)	399.8	114) 田坂 雫惶(日野)	394.1	138) 折原 慶子(甲府城西)	384.7
89) 牧 凜香(高瀬)	399.5	115) 藤瀧菜々香(箕面自由学園)	394.0	139) 中山 天花(春野)	382.3
90) 武市 愛理(仙台育英学園)	399.4	116) 山崎わかな(水口)	393.7	140) 池田 花音(大和中央)	381.9
92) 田中 慧子(中大附属)	399.3	117) 野田 爽楽(立正大淞南)	393.6	141) 赤松 紗羽(立正大淞南)	381.6
93) 小泉百萌子(中大附属)	398.8	118) 林 夕美菜(津幡)	393.5	142) 志村 琴美(笛吹)	381.5
94) 中川 徳美(高知小津)	397.6	119) 星澤 真依(中大附属)	393.4	143) 西田 美乃(津幡)	380.3
95) 森地 結唯(水口)	397.5	4s98.3 120) 松尾明優奈(立正大淞南)	392.9	144) 八束 聡美(伊予農業)	378.9
96) 平 小鈴(南陽)	397.5	4s98.2 121) 皆川 雛香(村上中等教育)	392.7	145) 小川 月渚(久居)	378.8
97) 北田 佳奈(甲南)	397.2	122) 吉田 七愛(南砺福野)	392.3	146) 増田 彩乃(鬼怒商業)	378.0
98) 平田 莉菜(加計)	397.1	4s100.2 123) 高橋 智(山辺)	392.2	4s95.9 147) 加藤 晴香(科学技術)	376.7
99) 瀬川 詩奈(加計)	397.1	4s99.3 124) 中込めぐみ(笛吹)	392.2	4s96.1 148) 笹田 美空(大和中央)	374.6
100) 戸田 琴野(岩津)	396.3	125) 中山 穂果(足羽)	391.8	149) 井上 心優(久居)	373.4
101) 戸梶 佳苗(高知農業)	396.1	126) 中井 萌木(南砺福野)	391.7	150) 横手優希菜(山辺)	368.8
102) 寺田侑里香(南砺福光)	395.9	4s99.9 127) 清水 琴美(甲府城西)	391.5	151) 竹中菜乃葉(津幡)	367.1
103) 西田 姫奈(高知農業)	395.9	4s97.7 128) 相馬 令菜(高瀬)	391.3	152) 藤林さくら(高瀬)	366.5
104) 新谷 心(内子)	395.7	129) 若村 林華(水口)	390.2	153) 尾崎 愛(立正大淞南)	365.0
105) 堀坂 莉珠(明石西)	395.5	130) 板敷 日和(高梁城南)	389.9	4s96.8 154) 霜里 風花(鳥取東)	362.1
106) 磯 捺々花(足羽)	395.3	4s100.3 131) 橋田 奈海(笛吹)	389.9	4s93.9 155) 前田 清花(鳥取東)	357.7
107) 金元 愛美(内子)	395.3	4s99.8 132) 池田 咲希(長崎南)	388.5	156) 黒田 出海(米子西)	353.8
108) 吉野 莉菜(立正大淞南)	395.3	4s99.1 133) 外田 悠生(北桑田)	388.4	157) 岡村 梨央(鳥取東)	339.7
109) 大竹くるみ(南陽)	395.1	4s101.5 134) 次田 彩香(高瀬)	388.1	158) 武藤愛名乃(箕面自由学園)	339.3
110) 岡本智彩葵(伊予農業)	395.1	4s98.9 135) 神野 雅(日大東北)	388.0	159) 松村 晴菜(金沢辰巳丘)	319.5
111) 石川 光流(日大東北)	395.0	4s102.3 136) 森 華月(佐賀商業)	387.1	160) 長谷川満里奈(茨木)	224.6
112) 上野 唯愛(真岡北陵)	395.0	4s100.0 137) 橋本 青依(日大東北)	387.0		
113) 長尾 明音(京都廣学館)	394.3	138) 中島望蘇乃(春野)	386.4		

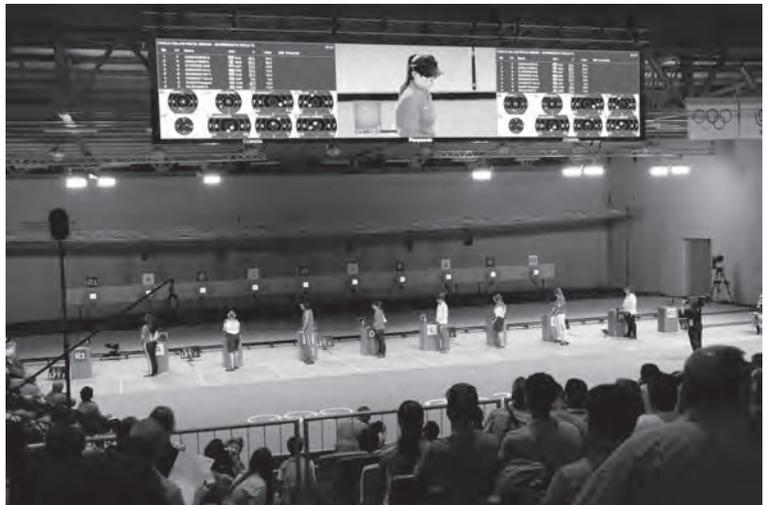
STYX ネットワークシステム



Olympics & Paralympics

SIUS 電子標的が採用されています

- 1992 Barcelona
- 1996 Atlanta
- 2000 Sydney
- 2004 Athens
- 2008 Beijing
- 2012 London
- 2016 Rio de Janeiro
- 2021 Tokyo



リオデジャネイロ五輪 決勝会場

ISSF公認 (Phase III・最高評価の公認)

光学式電子標的・超音波式電子標的

SIUS 社 日本総代理店

日本ビーム株式会社

www.japanbeam.com



ビームライフルで射撃スポーツを始めましょう!

BEAM·RIFLE SHOOTING SYSTEM

ビーム・ライフルの特徴

- ビーム・ライフル/ピストルの光源はキセノン管発光で、人体には影響のない安全な光です。
- 標的装置の設置は水銀灯、白熱灯、蛍光灯などを使用する体育館や教室で利用できます。



ビームライフル ジュニア用 型式 MBR-203J

この銃は 3.0 k g と軽量で、全長も小中学生などに合わせた入門者向けのモデルです。
バットプレートは体格に合わせて、前後に調整できます。
専用バッテリー、サイトセット、ハードケースが付属します。



ビーム・ライフル 型式 MBR-201

この銃はチークピースの調整を容易にした、バランスー付の競技者向けのモデルです。

ビームライフル・システム



ターゲット装置
型式 MT-201



ディスプレイ装置
型式 MD-201L



プリンター装置
型式 MP-216

〔 製造・発売元 〕

—KOTO— 興東電子株式会社

本社 〒306-0232 茨城県古河市東牛谷 603-2

電話 0280-98-3387 FAX 0280-98-1180

<http://www.kohto.co.jp> E-mail: info@kohto.co.jp

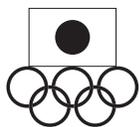
来たとき よりも キレイに!

世界に示す、クリーンジャパン



KEEP EVERYTHING
MORE BEAUTIFUL
THAN IT WAS.

Show the world, CLEAN JAPAN!



JAPANESE OLYMPIC COMMITTEE
公益財団法人 日本オリンピック委員会



10.9 FOCUSED.
TARGETED.
EXACTLY.

WALTHER

LG400
MONOTEC



KK500
PRECISION IN A NEW DIMENSION

POWERED PERFORMANCE.



(公社) 日本ライフル射撃協会オフィシャルサプライヤー
株式会社 **國友銃砲火薬店**
〒600-8032 京都市下京区寺町通仏光寺東入る 國友ビル 3F

ワルサー社・エレー社 日本代理店

TEL(075)351-3037 FAX (075)351-3041

<http://www.kunitomogs.co.jp> E-mail: shooting@zj8.so-net.ne.jp

日本全国へ販売設置を致します。

■Meyton(マイトン)電子標的システム



Meyton電子標的の特徴：

- ・赤外線バリヤを通過した位置を測定
- ・センターは常に一定
- ・測定精度は1/100mm
- ・ワークステーションによる一元管理
- ・1台から利用可能
- ・10m, 50m競技用(25mは別製品)
- ・測定用消耗品は不要

Meyton(マイトン)電子標的導入射撃場(順不同)：

新潟県立胎内ライフル射撃場(10m, 50m)、茨城県菅ライフル射撃場(10m, 50m)、福井県立ライフル射撃場(10m, 50m)、神奈川県立伊勢原ライフル射撃場(10m, 50m)、くりはま花の国エアライフル場(10m)、宮城県ライフル射撃場(10m, 50m)、沖縄県ライフル射撃場(10m, 50m)、慶應義塾大学(50m)、中央大学(50m)、日本大学(10m, 50m)、明治大学(10m)、その他高校・大学多数導入 ※大阪府能勢町ライフル射撃場(10m, 50m): メンテナンスのみ(國友銃砲火薬店様導入)

有限会社 三和管財

〒277-0862 千葉県柏市篠籠田1316 TEL: 04-7143-6122 Fax: 04-7147-0745
Meyton社製品 日本ディストリビューター / Noptel社製品 輸入代理店

ライフルスポーツ 購入申込方法

◆お申し込みは郵便振替または現金書留で下記の宛先までお願いします。

⇒郵便振替の場合

郵便振替 00140-0-707998 公益社団法人日本ライフル射撃協会

⇒現金書留の場合

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 公益社
団法人日本ライフル射撃協会ラリスポ担当

◆価格(送料込み)

⇒一部300円、年間1,800円 学生・生徒一部200円、年間1,200円

◆会員への配布

⇒会員(デジタル会員を除く)については、会費に含まれていますので、自動配布となります。
ただし、大学生及び中高生会員への配布は、当協会の規程によります。



●発行人 ———— 松丸 喜一郎

●編集 ———— 総務委員会

●発行所 ———— 公益社団法人日本ライフル射撃協会

(2019年7月より 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE
新住所) 電話 03-6721-0792 / FAX 03-6721-0793

E-mail: rifle@japan-sports.or.jp

https://www.riflesports.jp/

●印刷所 ———— 広研印刷株式会社

〒171-0033 東京都豊島区高田3-3-16

電話 03-3208-8273 / FAX 03-3208-8244

本誌は、スポーツ振興くじ助成金を受けて発行しています。

ALSOKは、

東京2020オリンピックを

応援しています。



TOKYO 2020



ALSOK

東京2020オフィシャルパートナー
(セキュリティサービス&プランニング)



ライフル射撃
岡田 直也



ライフルスポーツ THE RIFLE SPORTS 2021.5

第450号

令和三年九月一日発行 隔月(奇数月)一日発行
昭和五十三年二月二十五日第三種郵便物認可

発行人・松丸喜一郎
発行所・公益社団法人日本ライフル射撃協会

東京都新宿区霞ヶ丘町4-1-2



#ともに 越えよう

休んでたわけじゃない
不安や孤独と戦いながら 高めていたんだ
闘志を 自分自身を

私たちの 想いは 情熱は
湧き立ち みなぎり 駆り立てる
前へ 前へ 前へ

できる やれるよ 私たちなら想いをひとつに
その先へ行く力 「ダイバーシティ概念」

さあ スポーツが待ってる

REACH BEYOND



定価 300 円